配合設計報告書作成システム





Windows10 対応版

操作説明書

目 次

§1.	シスラ	テム概要	5 -
	¶1.	Mix Designer 概要	6 -
		■ 概要	····- 6 -
	¶2.	システムの起動・メイン画面	8 -
		■ システムの起動方法	8 -
		■ メイン画面の見かた	8 -
§2.	マスタ	9管理	
	$\P{1}.$	混合物マスタ	10 -
		■ 一覧画面	
		■ 既存マスタを編集する	
		■ マスタを新規登録する	
		 マスタを削除する	
	$\P{2}.$	アスファルトマスタ,再生用添加剤マスタ,繊維マスタ	12 -
		■ 一覧画面	12 -
		■ マスタを新規登録する	13 -
		■ 既存マスタを編集する	
		 マスタを削除する	
	¶3.	旧バージョンのマスタを読み込む	15 -
		 Mix Designer / Mix Designer Kから混合物マスタを読み込む	
§3.	報告書	書の作成	16 -
	¶1.	報告書データファイルの作成	17 -
		 データファイルを新規作成する	
		■ データファイルの編集を行う	
		■ データファイルを削除する	
		■ データファイルを複写する	
	¶2.	報告書(試験結果)の入力	20 -
		■ 基本設定を行い、様式・仕様を決定する	
		■ 材料試験報告書作成システムのデータを利用する	
		■ 配合設計データ編集画面の見かた、基本的な入力方法	
		 マーシャル試験グラフの調整を行う	
		■ データ連動について	33 -
	¶3.	各試験結果入力画面の詳細	34 -
		■ 調整図表 ·····	34 -
		■ 再生用添加剤による設計針入度への調整	34 -
		■ 新アスファルトによる設計針入度への調整	
		 新アスファルトによる設計針入度への調整	

		■ 新アスファルトによる設計圧裂係数への調整	38 -
		■ 合成粒度表	
		■ 試験配合表・理論最大密度計算表	42 -
		■ 理論最大密度計算表 (北海道 F 付き)	44 -
		■ マーシャル安定度試験	45 -
		■ マーシャル安定度試験 ー ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合	46 -
		■ 舗装路面のきめ深さ測定	47 -
		■ ホイールトラッキング試験	48 -
		■ 透水試験	49 -
		■ 加圧透水試験 ー ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合	50 -
		■ カンタブロ試験	51 -
		 水浸ホイールトラッキング試験	52 -
		■ 静的ダレ試験	53 -
		■ ラベリング試験	54 -
		■ 配合設計結果表	55 -
		■ プラント配合表	56 -
	¶4.	報告書の印刷	57 -
		■ 配合設計報告書を印刷する	57 -
		■ 配合設計報告書を印刷する ー ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合	
	¶5.	現場配合総括表の作成・印刷	59 -
		■ 現場配合総括表を作成する	
		■ 現場配合総括表を印刷する	60 -
§4.	データ	タフォルダの管理	61 -
	¶1.	データフォルダを管理する	62 -
		■ データフォルダとは	62 -
		■ データフォルダの選択	63 -
		■ データフォルダの新規作成	63 -
		■ フォルダの名称変更	64 -
		■ データフォルダの削除	64 -
	¶2.	エクスポート/インポート・・・・・	
		■ エクスポート(フォルダの退避)/インポート(フォルダの復帰)とは	
		■ フォルダをエクスポートする	
		 フォルダをインポートする	
	¶3.	バックアップ/リストア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	66 -
		■ バックアップ(データベース全体の退避)/ リストア(データベース全体の復帰)…	
		 データベースをバックアップする	
		 データベースをリストアする	
§5.	環境調	安定	67 -
	¶1.	環境設定	68 -

	■ 環境設定を行う	68 -
	¶2. 既定值設定	69 -
	■ 既定値設定を行う	69 -
§6.	その他の機能	72 -
	¶1. その他の機能	73 -
	■ よくある質問(FAQ)を確認する	73 -
	■ 現在のバージョンを確認する	73 -
§7.	インストール	74 -
	¶1. システムのインストール/アンインストール	
	■ 各種ツールをインストールする	75 -
	■ Mix Designer をインストールする	75 -
	 Mix Designer の初回起動について	76 -
	 Mix Designer を最新バージョンに更新する	77 -
	■ Mix Designer をアンインストールする	77 -
§8.	注意事項	78 -
	¶1. 注意事項	
	■ データ保存場所について	79 -
	■ ライセンス登録について	79 -
§9.	最新 Ver.変更点	80 -
	¶1. Ver.4.4	81 -
	■ Excel 印刷の変更点 ·····	81 -
	■ 現場配合粒度の直接入力	81 -
	¶2. Ver.4.5	82 -
	■ マーシャル試験の温度の範囲表示に対応・・・・・・	82 -
	■ マーシャル試験の最適アスファルト量用の備考欄を追加	82 -
	■ 混合物の粒度範囲および空隙率基準値のNEXCO対応	83 -
	¶3. Ver.4.6	
	■ ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)に対応	84 -
	■ プラント配合表の計量値単位に「t/h」を追加	
	■ 印刷設定パターンの切り替え機能を追加	85 -
	¶4. Ver.4.7	86 -
	 北海道 F 付き合材に対応 	86 -
	¶5. Ver.4.8 ·····	
	■ 再生用添加剤+新アスファルトによる設計針入度への調整に対応	

- 4 -

§1. システム概要

¶1. Mix Designer 概要

■ 概要

「Mix Designer 配合設計報告書作成システム」(以下、本システム)は、下記の機能を提供するシステムです。

・各種アスファルト混合物の配合設計結果を電子データとして記録し、配合設計報告書を作成する。 ※Ver4以降は、標準様式と近畿様式を出力できます。

本システムの運用の流れは下記の通りとなります。



本システムでは、データの管理を下図の親子関係で行います。 本システムを扱う上で、この概念は非常に重要です。



作成の一例を示します。

データフォルダは、「平成24年度」「平成25年度」のように作成します。

各マスタは、フォルダごとに登録します。このマスタは、同じフォルダ内で使用できます。

データファイルは、混合物の種類ごとに「密粒度」「粗粒度」のように登録します。

報告書データは、各配合の試験データである、「合成粒度表」「理論密度」などが保存されます。

¶2. システムの起動・メイン画面

■ システムの起動方法

システムを起動するには、デスクトップのショートカット「Mix Designer」をダブルクリックします。



■ メイン画面の見かた

システムを起動すると、以下のような画面が起動します。 この画面から、フォルダ管理、マスタ登録、報告書作成、環境設定などを行います。 報告書を作成する場合は、下図の①、②、③の順に操作します。



最新表示 ボタンをクリックすると、表示状態を最新の状態に更新します。

§2. マスタ管理

¶1. 混合物マスタ

■ 一覧画面

メイン画面より、 混合物マスタ登録 ボタンを押下すると、混合物マスタの一覧画面が開きます。 よく使う混合物を登録しておく事で、報告書入力の基本設定が簡単に入力できるようになります。 ※混合物マスタについてのみ、一部のマスタが既定で準備されています。

操作メニューです。 マスタの新規追加・コピー・ 内容の編集・削除ができます。	現在登録る	されているマス 示されます。	タの
Mix Designer - 配合設計報告書作成システム			
混合物マスタ登録			5 閉じる
データフォルダ 平成25年度用②			
🖹 新規作成 📄 複写新規 🛛 📝 編集	🗙 削除 🗾 🛃 🛃	新表示	
No. 混合物名	室内雨	合のアスファルト量	現場配合
1 00-1 アスファルト安定処理	4.0		OAC1点
2 01-1 ①粗粒度アスファルト混合物(20)	4.5 5.	0 5.5 6.0	6.5 OAC1点
3 02-1 ②密粒度アスファルト混合物(20)	5.0 5.	5 6.0 6.5	7.0 OAC1点
4 02-2 ②密粒度アスファルト混合物(13)	5.0 5.	5 6.0 6.5	7.0 OAC1点
5 03-1 ③細粒度アスファルト混合物(13)	6.0 6.	5 7.0 7.5	8.0 OAC1点
6 04-1 ④密粒度ギャップアスファルト混合物(13) 4.5 5.	0 5.5 6.0	6.5 OAC1点
7 05-1 ⑤密粒度アスファルト混合物(20F)	6.0 6.	5 7.0 7.5	8.0 OAC1点
8 05-2 ⑤密粒度アスファルト混合物(13F)	6.0 6.	5 7.0 7.5	8.0 OAC1点
9 06-1 ⑧細粒度ギャップアスファルト混合物(13F) 6.0 6.	5 7.0 7.5	8.0 OAC1点
10 07-1 ②細粒度アスファルト混合物(13F)	7.5 8.	0 8.5 9.0	9.5 OAC1点
11 08-1 ⑧密粒度ギャップアスファルト混合物(13F) 5.5 6.	0 6.5 7.0	7.5 OAC1点
12 09-1 ③開粒度アスファルト混合物(13)	3.5 4.	0 4.5 5.0	5.5 OAC1点

・旧バージョンをお使いの方へ

MixDesigner 1.7 / 3.X または、MixDesigner K 1.3 / 3.Xをお使いの方は、マスタを本システムに読み込む事ができます。

マスタ読み込みの方法については、P-15-を参照してください。

■ 既存マスタを編集する

一覧画面から内容を変更したい行を選択し、

☑ 編集

ボタンをクリックします。(または、変更したい行

をダブルクリックします。)

新規登録と同等のマスタ登録画面が起動しますので、変更したい内容を入力し、 🚽 保存 ボタンを

クリックします。新しい入力値で更新されます。

なお、編集では、「混合物コード」を変更する事はできません。

■ マスタを新規登録する

🎦 新規作成

| ボタンをクリックすると、マスタの登録画面が表示されます。

▶ 複写新規 →

ボタンをクリックすると、既存のマスタ内容をコピーし、マスタ登録画面を起動します。



内容を入力後、

ボタンをクリックすると、入力した内容を保存します。

一覧画面の最下段に登録したマスタが表示されます。

📙 保存

■ マスタを削除する

一覧画面から、削除したいマスタを選択し、

☓削除

ボタンをクリックします。

削除しようとしている混合物マスタの内容が表示されます。



をクリックすると、選択したマスタが削除されます。

¶2. アスファルトマスタ,再生用添加剤マスタ,繊維マスタ

■ 一覧画面

メイン画面より、 アスファルトマスタ登録 再生用添加剤マスタ登録 繊維マスタ登録 ボタンを押下 すると、それぞれ、マスタの一覧画面が開きます。

よく使う材料を登録しておく事で、報告書入力の基本設定が簡単に入力できるようになります。

[アスファルトマスタ]

🔂 М	x Desigr	ner - 配合設計報告書作成シス	ステム		- • ×			
77	、ファル	トマスタ登録			5 BUS]		
デ	タフォルタ	☑ 平成25年度用②				操作メニューです。		
1	新規作成 項写新規 『編集 × 削除 2最新表示						マスタの新規追加・コピー・	
No.		アスファルト種類	補足名称	材質	産 地	製造会社	内容の編集・削除ができます。	-
1	010	アスファルト	60-80	ストレート	新潟県十日町市	㈱創風瀝青		-
2	020	改質アスファルト	60-80 改質材〇〇〇	改質材000	新潟県十日町市	㈱創風瀝青		
3	030	アスファルト	80-100	ストレート	新潟県十日町市	㈱創風瀝青		
4	040	再生アスファルト	60-80	再生アスファルト	新潟県十日町市	㈱創風瀝青	田大水田としていていての	
5	050	再生改質アスファルト	60-80 改質材〇〇〇	再生 改質材〇〇〇	新潟県十日町市	㈱創風瀝青	現任登録されているマスタの)
							一覧が表示されます。	

再生用添加剤マスタ、繊維マスタの操作方法については、アスファルトマスタと同じです。

[再生用添加剤マスタ]

Mix Designer - 配合設計報告書作成システム							• X	
再生用添加剤マスタ登録							-	5 閉じる
5	テ ゙ー	タフォルダ	平成25年度用②					
	1	新規作成	1 1 複写新規	☑ 編集	€ € 最新表示			
N			再生用添加剤	材質	産 地	製造会社		
1		010	再生用添加剤 A-OO	オイル	新潟県十日町市	㈱創風石油		
2		020	再生用添加剤 B-00	オイル	新潟県十日町市	㈱創風石油		

[繊維マスタ]

i 🔊	🔀 Mix Designer - 配合設計報告書作成システム					
繊	維マス	タ登録				5 閉じる
Ŧ	ータフォル	ダ <mark>管理フォルダ1</mark>				
Ē)新規作	或 🗈 複写新規	❷ 編集 ▲ 】 ★ 削勝	€ _ 最新表示		
No		繊維名称	材質	産 地	製造会社	
1	010	植物繊維	植物繊維	新潟県上越市	㈱創風サンド	
2	020	ベンガラ	ベンガラ	新潟県上越市	㈱創風サンド	

■ マスタを新規登録する

🎦 新規作成

| ボタンをクリックすると、マスタの登録画面が表示されます。

▶ 複写新規 ボタンをクリックすると、既存のマスタ内容をコピーし、マスタ登録画面を起動します。

[アスファルトマスタ]



再生用添加剤マスタ、繊維マスタの操作方法については、アスファルトマスタと同じです。

[再生用添加剤マスタ]		[繊維マスタ]	
再生用添加剤マスタ	×	繊維マスタ	— ×
再生用添加剤ロード 030 再生用添加剤名称 再生用添加剤 A-00	【複写新規】	繊維コード 030 【復写新 繊維名称 植物繊維	規】
試験値 規格値			
<u>動粘度</u> 86.080~1,000 引火点246250以上		<u>密 度 1.301</u> 記 合 率 0.5	
薄膜加熱後の粘度比 1.04 2 以下			
薄膜加熱質量変化率 -0.28 ±3 以内 密 度 0.999 —			
材質 オイル		<u>現金の</u> 製造会社 (税創風サンド	
産 地 新潟県十日町市 製造会社			μ
	**>セル		





地

製造会社

新潟県十日町市

このマスタを削除します。よろしいですか? OK キャンセル

㈱創風瀝青



¶3. 旧バージョンのマスタを読み込む

■ Mix Designer / Mix Designer K から混合物マスタを読み込む

メイン画面から、 旧バージョンマスタ変換 ボタンを使用すると、旧バージョンの配合設計報告書作成 システム(標準版・近畿版)【Mix Designer Ver1.7 / 3.X】【Mix Designer K Ver1.3 / 3.X】で作成した混合物 マスタ、アスファルトマスタ、再生用添加剤マスタを本システムに読み込む事ができます。

◇√ 旧八ージョンマスタ変換			旧バージョンの配合マスタ
旧バージョン(3×以前)のマスタ内容を、本システムの	マスタに保存します。		ファイルを選択します。
┌ 旧バージョンのマスタファイルの選択 ―――			
マスタファイルの選択 選択するマスタファイル名は、標準版は「	ModMaster.mdb」、近畿版は「ModMaster.mdb」です。		ロバージンの泪入物ーフク
C:¥tmp¥mix_mate_data¥MxkMaster.mdb			旧ハーンヨンの混合物マスタ
- 混合物マスカの変換設定			一覧か表示されます。
・「同一のコードが既に存在する場合は、上書き保存されます。必要 - 「「「「」」」、「「「」」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」	要に応じて保存先マスタのコードを変更してください。		
	(25471)ね		読み込む混合物マスタの一覧
		変換モード	
1 ANOOO1 アスファルト安定処理	00-1 💽 アスファルト安定処理	上書き保存	C-9 .
2 KAIOO1 開粒度アスコン(13)	09-1 💽 ③開粒度アスファルト混合物(13)	上書き保存	読み込みたい混合物に
3 MI0001 再生密粒度アスコン(20)	MI0001 - 再生密粒度アスコン(20)	新規保存	
4 MIDUU2 密粒度アスコン(13)	■IUUU2 ■ 密粒度アスコン(13)	新規保存	ついて、本システムで使用する
5 MI0003 再生留程度アスコン(20F) 6 MI0004 変数度マフコン(19E)	■10003 ■ 再生密粒度アスコン(20F) ■10004 ■ 変粒度マスコン(13F)	新規保存	
7 MIGDD1 密粒度ギャップ72コン(13)	■1000年 ● 出生度/ ペコン(137) ■16001 ■ 密粒度キ* ex7*7スコン(13)	新規保存	コードを人力します。
8 MIG002 密粒度キャップアスコン(13F)	MIG002 - 密粒度キ*ャッフ*アスコン(13F)	新規保存	言ひれまない担人けの問わ
9 SA0001 細粒度アスコン(5F)	SA0001 🗨 細粒度アスコン(5F)	新規保存	武み込まない場合は空欄を
10 SA0002 細粒度アスコン(13)	SA0002 🗨 細粒度アスコン(13)	新規保存	設定します
11 SA0003 細粒度アスコン(13F)			
12 SAGUU1 細粒度ギャップアスコン(13F)			※コードが重複している場合、
13 500001 再生租程度アスコン(20)			おりいしまれようので
			独前的に上書さしますので
			注音] てください
			江屋してくにして。
- その他のマスタの変換設定			
☑ アスファルトマスタを変換する 【注意】			亦協問始を押すと 読み込み
▼ 再生用添加剤マスタを変換する ・同一のコードが既	こ存在する場合は、全て上書き保存されます。		変換開始を1年9こ、肌み込み
			を行います。
	変換開始	キャンセル	
近畿版(Mix Designer K)の)マスタを選択した		
旧人のフィークトナムリン	とんナナ		
場合のみ、ナエックを刊り	られより。		
チェックをつけると アスフ	ァルトマスタ 再生用		
添加剤マスタについて、そ	れぞれ、登録されている		
Aての内容たしまと再 <u></u> 年(1++		
主しの内谷を上書さ史利	しより。		
読み込みが正常に完了オスレ	ダイアログが表示されますの	C OK	<i>を</i> カリック」 キオ
いいったいでんうエロ にしし 」 りつこ	VIII H/ MAXINCAULY V/		こノリリノレム y 。
各マスタの一覧画面に対し、諸	えみ込んだ材料マスタが追加さ	れます。	

・注意!

この機能はシステム導入時専用の処理です。登録済みのマスタを上書きする場合もあるため、十分注意して作業を行って下さい。

§3. 報告書の作成

¶1. 報告書データファイルの作成

■ データファイルを新規作成する

本システムでは、1つの配合設計報告書を、1つのデータファイルとして管理します。 報告書を作成するには、まず、データファイルを作成する必要があります。 データファイルは、メイン画面より作成します。

📸 Mix Designer - 配合設計報告書作成システム			
配合設計報告書作成システム Ver.4.3		システム終了	①新規作成をクリックします。
1 新規11版 1 很多新規 2 編集	▲ 前际 ● 載新表示		
No. データファイル	XE	混合物マスタ登録	
1 A010_密粒度アスコン (13F) パ 2 A020 変粒度アスコン (13F) パ	バージン パージン 再生入り	アスファルトマスタ登録	
2 NO20_INDEC / (INF) ////////////////////////////////////	イージン プレミックス	再生用添加剤マスタ登録	
4 A040_密粒度アスコン 改質 (13F) // 5 A050_密粒度ア 6 B010_密粒度ア 7 B020_密粒度ア 8 B030_密粒度ア 9 B040_密粒度ア 10 密粒度ア 9 B040_密粒度ア 10 空粒度ア 10 空粒度ア 10 空地度ア	ジン ブラントミックス外比 ン ・ ・ タファイルを作成します。	議議・原料等マスタ登録 ■ 現場配合総括表の作成 テータフォルダの管理	②新規作成画面が表示されますのでファイルIDとファイル名を入力します。 ※ファイルIDはフォルダ内で
11 (320)(11)(12)(12)(12)(12)(12)(12)(12)(12)(12		データフォルダのエクスポート データフォルダのインポート	一意に設定してください。
	OK (***/#/)	環境設定・	③OKボタンをクリックすると、 ファイルが登録されます。

- <u>-</u>	新規作成 🛛 🔁 複写新規	現 🛛 📝 編集	▶ 削除 ● 最新表示		
No.	データス	ファイル	Ŧ٧		
1	A010_密粒度アスコン	(13F	バージン		
2	A020_密粒度アスコン	(13F	バージン 再生入り		
З	A030_密粒度アスコン	改質 (13F	バージン プレミックス		
4	A040_密粒度アスコン	改質 (13F	バージン プラントミックス外比		
5	A050_密粒度アスコン	改質 (13F	バージン プラントミックス外比 再生入		
6	B010_密粒度アスコン	再生 (20F	再生添加剤式 針入度		
7	B020_密粒度アスコン	再生 (20F	再生添加削式 圧裂		
8	B030_密粒度アスコン	再生改質 (20F	再生添加剤式 圧裂 プラントミックス内比		
9	B040_密粒度アスコン	再生 (20F	再生添加剤式 針入度 複数再生骨材		
10	CO10_密粒度アスコン	再生 (20F	再生新アス式 針入度		
11	CO2O_密粒度アスコン	再生 (20F	再生新アス式 圧裂		
12	C030_密粒度アスコン	改質 (20)	再生新アス式 針入度 プレミックス		
13	C040_粗粒度アスコン	再生改質 (20)	再生新アス式 針入度 プレミックス		新しいファイルが
14	C050 粗粒度アスコン	再生改質 (20)	再生新アス式 圧裂 プラントミックス外比		がしいシノイルが
15	新しい混合物			∎ ←	迫加されました。
-					

■ データファイルの編集を行う

データファイルに試験結果を入力、編集、印刷などを行うには、「配合設計データ編集画面」を表示します。 配合設計データ編集画面の使用方法は、P-20-を参照してください。

1	新規作成 🗌 🐚 複写新	規 🛛	編集	▶ 御除 ■ 最新表示
No.	データ	ファイル		۶۲
1	A010_密粒度アスコン		(13F)	バージン
2	A020_密粒度アスコン		(13F)	バージン 再生入り
З	A030_密粒度アスコン	改質	(13F)	バージン プレミックス
4	A040_密粒度アスコン	改質	(13F)	バージン プラントミックス外比
5	A050_密粒度アスコン	改質	(13F)	バージン プラントミックス外比 再生入
6	B010_密粒度アスコン	再生	(20F)	再生添加剤式 針入度
7	B020_密粒度アスコン	再生	(20F)	再生添加剤式 圧裂
8	B030_密粒度アスコン	再生改質	(20F)	再生添加剤式 圧裂 ブラントミックス内比
9	B040_密粒度アスコン	再生	(20F)	再生添加剤式 針入度 複数再生骨材
10	CO10_密粒度アスコン	再生	(20F)	再生新アス式針入度
11	CO20_密粒度アスコン	再生	(20F)	再生新アス式 圧裂
12	CO30_密粒度アスコン	改質	(20)	再生新アス式 針入度 ブレミックス
13	CO40_粗粒度アスコン	再生改質	(20)	再生新アス式 針入度 プレミックス
14	0050_粗粒度マフコン	再生改智	(20)	再生新アフボ 圧烈 ブランドシックフめ比
15	新しい混合物			
_				

編集したいファイルを選択し、編集を クリックします。 または、編集を行いたいファイルを ダブルクリックします。



■ データファイルを削除する

🎦 新規作成 🕒 複写新規 📝 編集 💙 削除 🚺 武 最新表示 ②削除ボタンをクリックします。 バージン バージン 再生入り バージン ブレミックス バージン ブラントミックス外比 バージン ブラントミックス外比 再生入 A010_密粒度アスコン (13F) _____ A020 密粒度アスコン (13E) A030_密粒度アスコン 改質 (13F) A040_密粒度アスコン 改質 A050_密粒度アスコン 改質 (13F) (13F) 再生添加剤式 針入度 再生添加剤式 圧裂 再生添加剤式 圧裂 プラントミックス内比 8010 密粒度アスコン 再生 (20F) B020_密粒度アスコン 再生 (20F)
 8030 密粒度アスコン 再生改賃 (20F)

 8040 密粒度アスコン 再生 (20F)

 0010 密粒度アスコン 再生 (20F)

 (20F)
 再生添加削式 針入度 複数再生骨材 再生新アス式 針入度 CO20_密粒度アスコン 再生 CO30_密粒度アスコン 改質 (20F) 再生新アス式 圧裂 ①削除したいファイルを選択 再生新アス式 針入度 ブレミックス (20) 再生新アス式 針入度 ブレミックス 再生新アス式 正型 ブラントミック _____ CO40_粗粒度アスコン 再生改質 (20) します。 15 新しい混合物 データファイルの削除 X データファイルを削除します。よろしいですか? - 削除 ファイル名 新しい混合物 ③確認画面が表示されます ので、削除してもよい場合は OKをクリックします。 キャンセル OK

削除はデータファイルと、データファイルに格納されているデータを削除します。

■ データファイルを複写する

複写新規は、データファイルに格納されているデータを全てコピーして、新しいデータファイルを作成します。



12.報告書(試験結果)の入力

■ 基本設定を行い、様式・仕様を決定する

メイン画面から、データファイルの編集を行うと、まず「基本設定画面」が表示されます。 この画面から、作成する配合の種別、計算区分、使用する骨材、配合点数などの設定を行います。 配合に関するこれらの基本的事項は、全て基本設定から入力します。 基本設定を行う事で、試験値の入力や自動計算ができるようになります。

既 要						材料	料 試験	食報告	書作所	戈シス	テムの)
		0				結	果を読	長み込み	む場合	合に使	用しま	す。
		0										
データファイル 再	生骨材	室内配合の材	料 現場配	合の材料	その他の材料	料 混合物						
XE		品材料試験	データの参照	R Ka k	見格値を表示	示する	*₹	再生骨材の最	大密度は計	算密度欄(設定してくだ	esu.
会社名	株式会社創風システム		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
プラント名	新潟合材センター	材料名	6号砕石	7号砕石	粗砂	細砂	石粉	再生骨材				
	表紙 2017年03月01日 ▼	材料種別	粗骨 💌	粗骨 ▼	細骨 🔻	細骨 🔻	石粉 🝷	再生 💌	-	-	-	-
	使用材料一覧表 2017年03月01日 💌	53 (mm) 37 5										
報告日	材料試験結果表 2017年03月01日 ▼	31.5										
	配合設計結果表 2017年03月01日 🔻	26.5										
	プラント配合表 2017年03月01日 💌	19	100.0	100.0				100.0				
		9.5	30.2	100.0				100.0				
		4.75	3.2	88.5	100.0			74.1				
施工場所		2.36	0.9	7.5	85.7	100.0		56.8				
**		600(μm)			39.7	98.0	100.0	38.6		_		
旭山未石		300			19.0	50.0	99.9	25.8				
目的 室内	香 己合言设言十	150	-		5.9	1.7	0.69	11.7				
日的理想	相場配合	表乾密度	2.619	2.603	2.590	2.577	03.0	0.2				
	7元~986.0	かさ密度	2.580	2.559	2.545	2.530						
配合種別	再生 針入度 新アスファルト 🔹	見掛密度	2.686	2.675	2.664	2.654	2 710	2 422				
ばいまた	<u></u> 計算なし	<u>前异峦度</u> 吸水率	1.55	2.039	1.76	1.85	2.710	2.423				
船家計質士注		水分					0.10					
		日 粒	12.0									
的度計昇方法	かさ ・ 1.18mmかるい 使用しない ・	安定性	2.3	2.2								
密度係数 1.02	使用しない 💌 ※ノギス法の場合のみ有効です。	粘土塊量	0.16	0.14								
	1.70 ※「バージン 北海道F付き」の場合のみ有効です。	軟石量	0.5									
果表室内OAC	ガラフ計算値を表示 ▼	単位容積	1.512	1.527	1.588	1.455						
成粒度計質種別	粒度範囲の有るふるい目のみ ▼	塑性指数										
		は、離面積率						E 0E				
混合物コード	R-003 💌	旧アス針入唐						27				
混合物名	再生密粒度アスファルト混合物(13)	圧裂係数						1.49				
\bigcirc		<u>微粒分量</u> 材 質	庙工孙宇	庙工孙史	1.50	11.20	てのやて	1.05 再生母材				
		産地	新潟県柏	新潟県柏	新潟県柏	新潟県長	新潟県長	新潟県柏山				
		製造会社	(制新)舄砕;	㈱新潟砕	㈱新潟砕	Sofu鉱業	Sofu鉱業(㈱創風建				
											_	_
									X	ОК	د	ドャンセル
			Oł	くをク	リック・	すると						
			7	力内尔	交を破	「「「「」	ます	ſ				

[画面概要]	
項目	説明
1	データファイル、メモは、一覧画面に表示される名称です。
	会社名、プラント名、報告日、工事名、施工場所、施工業者、目的は、報告書Excelに印刷される
	内容を設定します。
2	配合種別、ゴム計算種別などを作成する配合に合わせて決定します。
3	使用する材料、作成する混合物の規格値を入力します。 「室内配合の材料」、「現場配合の材料」、「その他の材料」について、それぞれ入力します。

次頁から画面の操作方法を説明します。

①ファイル設定

基本設定										
データファイル 再生	E骨材									
۶t										
会社名 株式会社創風システム										
プラント名	新潟合材センタ-	_								
	表紙	2017年03月01日	•							
	使用材料一覧表	2017年03月01日	•							
報告日	材料試験結果表	•								
	配合設計結果表	2017年03月01日	•							
	プラント配合表	2017年03月01日	•							
工事名										
施工場所										
施工業者										
目的 室内	配合設計									
目的 現場	現場配合		_							

配合自体の設定を行います。 重要な項目ですので、最初に全て設定 します。

[操作の流れ]

1. データファイル名、会社名、報告日、工事名、 目的等を入力します。

[ファイル設定]

項目	説明
データファイル	一覧のファイル名に使用します。
メモ	
会社名・プラント名 報告日 工事名・施工場所 施工業者 目的	Excel印刷に使用します。

• ②混合物設定

配合種別	再生針入度 再生用添加剤 🔻
ゴム計算種別	計算なし マ
空隙率計算方法	平均のみ 💌 9.5㎜ふるい 使用しない 💌
密度計算方法	かさ 💌 1.18mmふるい 使用しない 💌
密度係数1.02	使用しない 💌 ※ノギス法の場合のみ有効です。
F/A	1.70 ※「バージン 北海道F付き」の場合のみ有効です。
結果表室内OAC	ガラフ計算値を表示 ▼
合成粒度計算種別	全てのふるい目を計算・
混合物コード	R-003 💌
混合物名	再生密粒度アスファルト混合物(13)

作成する混合物の規格値を入力します。 最初に全て設定します。

[操作の流れ]

- 1. 配合種別を選択します。(必須)
- 2. 改質剤を使用する場合、ゴム計算種別を選択します。
- 3. 各計算方法を選択します。
- 24. 混合物マスタを登録している場合、混合物コードを 選択します。
 混合物タブに混合物の規格値が読み込まれます。
- 5. 混合物タブの室内配合欄に、配合点数、配合ピッチ、 アスファルト量の1点目を入力し、点数を決定します。

→③室内配合-材料設定へ

[混合物設定]	
項目	説明
配合種別	重要です。 組みたい配合の種別を選択します。
	この選択により、画面の表示内容、計算方法、Excelの出力結果が変わります。
	下記の7種類の中から選択します。
	・バージン
	•再生 針入度 再生用添加剤
	 ・再生 針入度 新アスファルト
	 ・再生 針入度 添加剤+新アス
	•再生 圧裂係数 再生用添加剂
	• 再生 圧裂係数 新アスファルト
	・バー·ジノ 北海道F付き
	一一一 マン 111401 りこ 一一
	記口 個別を選び すると、画面の石 側が バン リルトのバン J 順に 90 9 目 429、 アスファルト設定のチェックが 再新されます
ゴノ計質話別	「ハノ」ル「設定のテエンクが交利されより。
コム訂昇裡別	■安くり。 組みたい 配石が以貝別ハリの 場石、コムの計算性別を選択しまり。 この選切により 両面の主子内容 計算士法 Evoloput 力法用が亦われます
	この選択により、回面の衣小門谷、計算刀伝、EXCEIの山刀和木が変わりより。 下記の4種類の中から翌田します
	 ・計 昇なし ・プレミックフ
	・ノレミックへ
	・ノノントミックへ 内比
	・ノノントミックヘットル ゴム社営活団な遅れまてた。両五のナ側がアフフラルトの入力欄に知りまたり
	コム計昇性別を迭代りると、回面の石側がノヘノナルトの八万欄に切り合わり、
	ノスノアルト設定のプエツノが更新されます。
	なわ、配合性別にわいて「ハーンン 北海坦F小さ」を選択しに場合、「計昇なし」 に田安されます
应购 达利	に回足されまり。
空限举計昇力法	マーンヤル女正度試験の空隙率計算で、との行を対象に計算を行りかを選択します。
	成化値は「半均のみ」です。下記の2種類から速択します。
	・半均のみ → 半均にり計算しより。 #計せた $\Delta = \Delta $
皮皮引放于 进	・ 供試体毎 \rightarrow 至 (の供試体について、 空隙率を計算します。
密度計算力法	選択した計算力法で、マーンヤル女正度試験の密度計算かけわれよう。
	成正値は「かさ」です。下記の5種類の中から選択します。 また よと 日地 ジョン 古地やエモ
	・衣虹 ・かさ ・見掛 ・ノキス法 ・尚機能Ⅱ型
	なお、 局機能Ⅱ型を利用するにはフィセンスか必要です。
_ 密度計数 1.02	密度計算方法か「ノキス法」の場合のみ有効です。
F/A	配合種別か「ハーンン 北海道F付さ」の場合のみ有効です。
9.5mmふるい	ふるいの育意色を変更でさます。ミス人力を防く事かでさます。
1.18mmふるい	・使用する → 該当ふるいの背景色か「日」になります。
	・使用しない → 該当ふるいの背景色かりクレー」になります。
結果表至内OAC	配合設計結果表において、至内OAC欄に使用する値を選択します。
	・クラン計算値を表示 → 至内の試験結果から、計算で求めた値を使用します。
	・確認試験結果を表示→ 確認試験で人力した実際の結果値を使用します。
	なお、密度計算方法において「高機能Ⅱ型」を選択
	した場合、「確認試験結果を表示」に固定されます。
合成粒度計算種別	合成粒度表において、合成粒度を算出する条件を下記の2種類から選択します。
	・全てのふるい目を計算
	・粒度範囲の有るふるい目のみ
混合物コード	混合物マスタに登録してある内容が表示されます。
	選択すると、登録してある設定が読み込まれ、混合物タブに内容が設定されます。
	※「⑧混合物タブ」で全ての内容を入力する場合、空欄でも構いません。

。 材料試験:	データの参照	8 D.U	格値を表	हर्नु	※再	生骨材の最	大密度(語	+算密度欄(認定して	(ださい。	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
才科名	ちち砕石	/ 专幹石	1000	石初							操/
材料種別	粗骨 💌	粗骨・	細骨 🔹	石粉・	•	•	-	•	-	•	Lariel
53 (mm)											1. 杉
37.5											
31.0 98 E											
10	100.0										
13.2	99.2										*
9.5	67.4	100.0									42
4.75	9.8	94.5									
2.36	2.0	14.2	100.0								
1.18		4.2	96.8								0 +
600(µm)		1.2	82.3	100.0							- 2. 🌾
300			33.9	100.0							
150			4.3	98.3							
75	0.501	0.503	1.0	91.5							
、乾密度	2.591	2.567	2.624								3. 1/
「こ」にしていた。	2.344	2.010	2.000								0. /2
日本度	2.003	2.000	2.720	2 700							
,水 率	1.84	2.18	2.18	2.100							
(分				0.10							1 [
1 粒				なし							4. '
り減り減量	18.3										7
そ 定 性	5.3	4.5	3.8								
5 土塊量											Г
て 石 重	3.1	2.7									1
化龙状	13.4	9.0									¥
1 世台慎 月性指数			ND								2
〈離面積率	6.0		IN F								
アス含有量	0.0										
アス針入度											
裂係数											
牧粒分量											
賃	硬石砂岩	硬石砂岩	硬石砂岩	硬石砂岩							
5 地	新潟県柏	新潟県柏	新潟県柏川	新潟県柏川							

配合で使用する骨材の設定を ます。

)流れ]

- 試験システムをご利用の場合は、 料試験データの参照」を行います。 ·試験結果を取得できます。
- 名、材料種別を選択します。
- に応じて、内容を入力します。
- 畿様式」の印刷を行う場合、規格値の が必要です。 格値を表示する」チェックをクリックすると、 材の規格値を入力する事ができます。

→④現場配合—材料設定へ

[室内配合—材料設成	Ξ]
項目	説明
「材料試験データ	材料試験報告書作成システム V4 のデータを読み込む事ができます。
の参照」ボタン	詳細は次項「材料試験報告書作成システムのデータを利用する」を参照ください。
規格値を表示する	チェックを付けると、各材料の規格値欄が表示され、入力可能になります。
材料名	必須です。材料名は一意に設定してください。
材料種別	必須です。下記の4種類から骨材の種類を選択します。
	・粗骨 ・細骨 ・石粉 ・再生
試験値	入力した値は、室内配合の計算に利用されます。
規格値	近畿様式の規格値欄に出力されます。

[「規格値を表示する」にチェックを付けた場合の画面例]

🜆 材料試験	データの参照	g 見格·						
		1		2	3			
材料名	5号砕石		6号砕石		7号砕石			
材料種別	粗骨 💌	規格値	相骨 🔻	規格値	粗骨 💌	規		
53 (mm)		~		~				
37.5		~		~				
31.5		~		~				
26.5	100.0	$100 \sim 100$		~				
19	95.6	$85 \sim 100$	100.0	$100 \sim 100$				
13.2	5.6	$0 \sim 15$	96.3	$85 \sim 100$	100.0	100		
9.5		~		~				
4.75	0.5	~	6.7	$0 \sim 15$	90.0	85		
2.36		~	0.8	~	8.9	0		
1.18		~		~		0		
600(µm)		~		~	0.3			
300		~		~				
150		~		~				
75		~		~				
表乾密度	2.837	2.45以上	2.732	2.45以上	2.712	2.4		
かさ密度	2.804	_	2.706	-	2.681			
見掛密度	2.901	_	2.778	—	2.765			

各骨材の規格値が 表示されています。

• ④現場配合一材料設定

内配合の材料	斗 現場配	合の材料	その他の材料	1 混合物						
		_	_		_					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
材料名	481N	3BIN	281N	石粉	冉生肯材					
材料種別	ピン 💌	ピン 📼	ピン 🝷	石粉 🔻	再生 💌	-	•	-	-	-
53 (mm)										
37.5										
31.5										
26.5	100.0									
19	87.8	100.0								
13.2	10.7	93.6	100.0		100.0					
9.5										
4.75		2.5	62.3		74.1					
2.36			2.2		56.8					
1.18										
600(<i>µ</i> m)				100.0	38.6					
300				99.9	25.8					
150				96.0	11.7					
75				83.6	8.2					

現場配合で使用する 骨材の設定を行います。

[操作の流れ]

- 材料試験システムをご利用の場合は、 室内配合の材料タブの「材料試験データ の参照」を行います。 材料試験結果を取得できます。
- 2. 材料名、材料種別を選択します。
- 3. 必要に応じて内容を入力します。

[現場配合一材料設定]

項目	説明
材料名	必須です。材料名は一意に設定してください。
材料種別	必須です。下記の3種類から骨材の種類を選択します。
	・石粉 ・再生 ・ビン
試験値	入力した値は、現場配合の計算に利用されます。

・⑤その他の材料ーアスファルト

室内翻	記合の精	科科	現場	配合の材料	その他の材料	混合物								
ፖス	ፖአጋምሥ													
				ニ ストレート	アスファルト	改賀ア:	スファルト	再生ア	スファルト	再生改質	アスファルト			
アス	ファル	ルトコー	-14	010 💌	規格値	•	規格値	100 👻	規格値	•	規格値			
アフ	スファ	ルト利	重类頁	ストレートアスファル	160-80			再生アス						
公	称爹	† 入	度	60-80				60-80						
針)	<	度	78	60~80			67	60~80					
軟	1	Ł	点	47.5	44.0~52.0			49.8	44.0~52.0					
伸			度	100 + 📝	100以上			105 + 📝	100以上					
密			度	1.033	1.000以上			1.041	1.000以上					
固	形	分	%											
薄腹	助熱質	重要的	七率											
薄肤	もないまた。	入度残	留率											
<u>8</u>	7	ネ	ス											
<u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>	ナシ	/ ,	1											
51	. 1	< <u> </u>	点	150 150				1.40 15.4						
混		温	度	153 ~ 159	-	~		149 ~ 154		~				
御	首页) 温	度	141 ~ 145	-	~		31~ 4Z 再件 フココ	- 11 1	~				
1/1			貝	メドレードナスノアル	00-80 #T±			円生アスフ	アルト					
周田	`±	~	地	相/為宗十日 (44)創園 海害	այո			相/為宗王日 触創園 渡去	1 1 1					
×	逗	T	ŤΤ	(初右小葉小座 月	計省	に使用する	777711.	いからいないた日						
発行す	וקררק	い針れ	度	R	7	10 m 9 %		- STRAE		F	1			
1017	~///	室内國	i7合	6	7		1			E	1			
理論	龠密度	理提	i7合	6	7	E	7			E	1			
		室内國	iiia	F	1	E	7	6	7		1			
2-	シャル	現場	记合				-		7		1			

配合に使用するアスファルトの 設定を行います。

[操作の流れ]

- 1. 配合種別、ゴム計算種別が選択され ていれば、下段の必要なアスファルト 欄がチェックされます。
- 2. チェックのある欄について、 アスファルトマスタが登録されている 場合、アスファルトコードを選択します。
- 3. アスファルトが読み込まれます。
- 4. 必要に応じて値を入力します。

その他材料一アスプ	その他材料―アスファルト]								
項目	説明								
アスファルトコード	アスファルトマスタに登録してある内容が表示されます。								
	選択すると、登録してある設定が読み込まれます。								
	※この画面で全てを入力する場合、空欄でも構いません。								
アスファルト種類	名称の表示、印刷などに使用されます。								
試験値	入力した値が、配合設計の計算に使用されます。								
規格値	近畿様式の規格値欄に出力されます。								
計算に使用する	「配合種別」「ゴム計算種別」により、自動的にチェックが付きます。								
アスファルトの設定	針入度、理論密度、マーシャル試験などで使用する密度、固形分などは、この欄に								
	チェックが付いているアスファルトを参照します。								

•	6その他材料-	-再生用添加剤

再生用添加剤											
	再生用添加剤										
再生用添加剤ロード	010 🔽 規格値										
再生用添加剤名称	○○オイル AA-000										
動 粘 度	86.0 80~1,000										
引火点	246 250 以上										
薄膜加熱後の粘度比	1.04 2 以下										
薄膜加熱質量変化率	-0.28 ±3 以内										
密度	0.999 —										
材質	オイル										
産 地											
製造 会社	㈱創風オイル										

配合に使用する再生用添加剤の 設定を行います。

[操作の流れ]

- 1. 再生用添加剤マスタが登録されている場合、再生用添加剤コードを 選択します。
- 2. 再生用添加剤が読み込まれます。
- 3. 必要に応じて値を入力します。

[その他材料―再生用添加剤]

項目	説明
再生用添加剤コード	再生用添加剤マスタに登録してある内容が表示されます。
	選択すると、登録してある設定が読み込まれます。
	※この画面で全てを入力する場合、空欄でも構いません。
再生用添加剤名称	名称の表示、印刷などに使用されます。
試験値	入力した値が、配合設計の計算に使用されます。
規格値	近畿様式の規格値欄に出力されます。

・⑦その他材料一繊維

繊	維														
						繊維	隹1			纎	催2				
繊	維日		-	۲	010	•	規格	値	020	•	規格値				
繊	維	-	名	称	植物繊	維			ベンガラ						
密				度	1	.301			1.304						
đđ	í	e.		率		0.5			0.2						
材				質	植物繊	維			ベンガラ						
産				地	新潟県	上越	市		新潟県上越市						
製	造	-	숲	社	㈱創風	サン	۲		㈱創風サンド						

配合で使用する繊維の設定を行います。

[操作の流れ]

1. 繊維マスタが登録されている場合、 繊維コードを選択します。

2. 繊維が読み込まれます。

3. 必要に応じて値を入力します。

[その他材料―繊維]

項目	説明
繊維コード	繊維マスタに登録してある内容が表示されます。
	選択すると、登録してある設定が読み込まれます。
	※この画面で全てを入力する場合、空欄でも構いません。
繊維名称	名称の表示、印刷などに使用されます。
試験値	入力した値が、配合設計の計算に使用されます。
規格値	近畿様式の規格値欄に出力されます。

※配合種別が「バージン 北海道F付き」の場合、使用できません。

• ⑧混合物設定

× 室内配合の材料 現場配合の材料 その他の材料 混合物 | 粒度範囲 →定粒度 「 マーシャル試験の基準値 -室内配合 突固め回数(回) 50 配合点数 5点 ▼ 53 (mm) 37.5 空隙率(%) $2.0 \sim$ 4.0 配合ピッチ 0.3 💌 31.5 飽和度(%) 62~ 70 4.9 1 アスファル ト量 5 26.5 安定度(kN) 6.00以上 5.2 100~ 100 100.0 19 フロー値 (1/100cm) 3 \sim 5.5 13.2 $_{95}\sim$ 100 97.5 真空パック空隙率(%) 5.8~ 7.6 5.8 9.5 骨材間隙率(%) 6.1 21 $_{30}\sim$ 38 34.0 4.75 22~ 2.36 27 24.5 その他の試験の基準値 現場配合 ~ 1.18 残留安定度(%) 75 きめ深さMPD(mm) 1.2 75 配合点数 OAC1点 🔹 19.0 600(µm) 21 配合ピッチ 0.3 $15\sim$ 300 18 16.5 動的安定度(回/mm) <mark>3,000</mark> 10~ 13 11.5 150 9~ 透水係數(%) 1.0×10-7 11 75 10.0 カンタブロ損失量(%) 12.0 水浸WT は〈離面積率(%) 5.0 静的机 付着損失量(%) 4.0 以下 粒度範囲小数桁数 なし ▼ ラベリング すりへり量 (cml) 0.7 空隙率基準値小数桁数 1桁 💌 締固め度(%) OK キャンセル

作成する混合物の規格値を 入力します。 最初に全て設定します。

[操作の流れ]

 必要に応じて、それぞれの値を入力 していきます。
 ※マスタを登録している場合は、原則 入力する必要はありません。

[混合物設定]

項目	説明
粒度範囲	粒度範囲を入力すると、予定粒度に中央値が自動設定されます。
予定粒度	
マーシャル試験の	規格値を入力します。
基準値	
その他の試験の	規格値や試験に使用する数値を入力します。
基準値	
室内配合·現場配合	使用する配合点数を選択します。
・配合点数	室内配合では1~5点、現場配合では1点か3点のいずれかを選択できます。
・配合ピッチ	配合ピッチは、室内配合において、0.5か0.3のいずれかを選択できます。
・アスファルト量	アスファルト量は、先頭の1点目を入力すると、配合点数と配合ピッチの設定により
	自動的に必要な箇所にアスファルト量が設定されます。
	なお、現場配合の配合点数と配合ピッチについては、「確認試験」にも使用されます。
粒度範囲小数桁数	粒度範囲、空隙率基準値において、それぞれ小数桁数 なし または 1桁 を選択しま
空隙率基準値	す。
小数桁数	

■ 材料試験報告書作成システムのデータを利用する

基本設定では、材料試験報告書作成システムV4の試験結果を参照する事ができます。 材料試験結果を読み込む事で、試験値を入力する手間が省けます。

材料参照は、室内配合の骨材と現場配合の骨材に対して、読み込みを行う事ができます。 読み込みを行った骨材については、値を上書きしますのでご注意ください。

小林料試験データの参照 をクリックすると、画面が起動します。	
材料試験テータの参照 ・ ・ ・	材料試験システムのフォルダ・ ファイル一覧です。 読み込むファイルを選択しま す。
6 データフォルダ H25-02 平成25年度用② 参照する材料の選択 参照する材料の選択 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 客 材料 名 5号砕石 0号砕石 7号砕石 10 ● ● ● 内料種別 相告 相告 細音 細音 石粉 再生骨材 ● ● 現 材料 名 ビン 2ビン 1ビン 石粉 再生骨材 ● ● 現 材料 名 ビン ビン ビン ビン ビン ● ● 米参照を行いた ない箇所は材料名を空欄にしてださい。 CK キャンセル	読み込む材料の一覧です。 読み込みたい材料について、 材料名を選択します。 読み込まない場合は空欄を 設定します。 ※材料名が入っている列は、
	全て上書き更新されますので ご注意ください。

OK をクリックすると、「室内配合の材料」「現場配合の材料」タブの内容が更新されます。

■ 配合設計データ編集画面の見かた、基本的な入力方法

配合設計データ編集画面は、試験結果データの入力や、報告書の印刷(Excel)を行うための画面です。 画面は、4つに分かれて構成されています。



①操作メニュー

データファイルに対して操作を行うためのメニューです。

合成粒度表											
データフォルダ 平成25年度用②	データファイル <mark>B010</mark>	密粒度アスコン	再生	(20F)							
🚰 基本設定 🛛 🔒 保存 🖉 🖨 Excel 印刷											

項目	説明
データフォルダ	現在編集しているデータフォルダが表示されます。
データファイル	現在編集しているデータファイルが表示されます。
🚰 基本設定	クリックすると、基本設定画面を表示します。
🛛 🛃 保存	クリックすると、入力した試験データを保存します。 データファイル内の試験結果全ての最新内容を保存します。
🛃 Excel 印刷	クリックすると、試験結果データをExcelに印刷(出力)するための設定画面を表示 します。

・②試験選択メニ	<u> </u>									
試験結果を入力したい試験種類を選択します。ボタンをクリックすると、選択したボタンの背景がオレンジで										
表示され、試験	後値の入力画面が切り替わります。									
室内 針入- 針) 配合 添加 新力	A- 針A- 圧裂- 圧裂- ☆+新 添加 新アス 粒度 理論 マーシ きめ ホイトラ 透水 かタ 水浸 静的 ラバリ シガ シガ									
現場 合成 マー 配合 粒度 わ	シ 結果 プラント 融合 選択すると画面が 切り替わります									
項目	説明									
室内配合	室内配合に関するメニューが表示されます。									
	「針入 - (〇〇)」「圧裂 - (〇〇)」の5ボタンについては、基本設定の配合種別によって									
	必要なボタンのみ選択可能になります。									
	また、「きめ深さ」「カンタブロ」「水侵ホイトラ」「静的ダレ」「ラベリング」のボタンについては、									
	ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合に使用可能になります。									
現場配合	現場配合と結果表に関するメニューが表示されます。									

③ページ選択メニュー

ある試験において、複数の試験を行う必要があるものは、ページ選択メニューに複数のボタンが表示されます。 ボタンをクリックすると、選択したボタンの背景が緑で表示され、試験値の入力画面が切り替わります。 例えば、マーシャル安定度試験では、「標準」「水浸」「結果図表」のボタンが表示されます。 「合成粒度表」では、「補正前」「補正後」のボタンが表示されます。



•④試験値入力画面

実際の試験結果を入力する為の画面です。 試験値を入力すると、試験項目の計算が行われます。また、グラフが自動的に描画されます。

背景が白色の欄は、試験結果の値を入力します。 背景が黄色の欄は、計算結果を自動的に出力します。他の画面を参照している項目もこの色です。 背景が灰色の欄は、基本的に入力に使用しません。 背景が緑色の欄は、入力欄の種類を表します。

ページ選択の種類です								1 1 1 1	弌験の	の入	力は	、背	景白	色の	欄に	こ行り	ぼう	t					
補正前																							
	1 5문	2 6문	3 7문	4	5	6	7 <u> </u> 五生	8	9	10				560	旧の大き	きさ別胞の	治率				合成 粒度	予定 粒度	粒度範囲
材料名	碎石	碎石	砕石	粗砂	細砂	石粉	骨材	K			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	111732	111/20	117364062
配合率	10.9	15.2	8.5	14.1	12.4	8.9	30.0														100.0		
53 (mm)																							~
37.5																							~
26.5	100.0										10.9										100.0	100.0	$100 \sim 100$
19	95.6	100.0					100.0				10.4	15.2					30.0				99.5	97.5	95 ~ 100
13.2	5.6	96.3	100.0				97.8				0.6	14.6	8.5				29.3				88.4	85.0	$75 \sim 95$
9.5																							~
4.75	0.5	6.7	90.0	100.0	100.0		80.9				0.1	1.0	7.7	14.1	12.4		24.3				68.5	62.0	52~ 72
2.36		0.8	8.9	86.0	99.6		64.1					0.1	0.8	12.1	12.4		19.2				53.5	50.0	40~ 60
1.18 600(um)			0.3	33.5	06.3		36.0						0.0	47	11 0		10.8				36.3	35.0	\sim 25 \sim 45
300			0.0	14.0	47.2	100.0	26.3						0.0	7.1			10.0					00.0	33
150				3.7	3.6	99.3	13.0						背:	景が	黄色	の楣	間は自	1動的	的に	表示	され	ます	21
75				0.9	0.9	92.2	10.4					—L,											11
																-							
100				-										図表切	替			जिस न	स्र स्ति न	titi	± −.	トフ	
90 -	2	成粒度								///			_ ₫	合率決	定図	┣━	_	凶才	又切	じ 谷	衣不	95	
80	- 1 お	7定松度 7度範囲											0 2	成粒度	曲線図			グラ	ラを	変更できます			
ŝ		L/3C #GES																					
1 1 70															11.94								
\$ 60 -		_					-//																
Ю ₅₀ —						1			_														
□ □ □ □ □ □																							
10 mg																		ガニ	シフレキ	一白番	₩4471	~ 世田	БÎ
																		、日男	リロンい	-1田世	픠		
20 20																		-					
10 -		··········	•					-											_	_	_	_	
	5	150	300	600 (μm)1.18	2.3	36 4	. 75	9.513.	2 19 2	6.5 37.5 21 5	53(mm)											
					15	ぃるい					01.0												

■ マーシャル試験グラフの調整を行う

マーシャル試験の「結果図表」ページでは、最適アスファルト量の決定に使用する曲線を調整できます。 頂点を移動させると、合格範囲と最適アスファルト量が再計算され、「最適アスファルト量の決定図」が 再描画されます。

また、最適アスファルト量が更新される事で、理論密度以降の再計算が行われます。



- 31 -

③マウスによる操作



■ データ連動について

本システムでは、データファイル内において試験結果のデータ連動が行われます。 データ連動は、ある試験の計算結果を、関連する別の試験に自動設定し、再計算を行う機能です。

たとえば、「合成粒度表」の配合率を変更した場合、合成粒度が計算されます。

この変更された合成粒度を使用して、「理論最大密度計算表」が自動計算され、現場配合の「マーシャル安定度試験」まで、関連する画面全てに対して再計算が実行されます。

データ連動の画面間の影響は下表の通りです。

変更した画面	自動計算される画面
基本設定	室内配合全て
	現場配合全て(※プラント配合表を除く)
室内配合一合成粒度	室内配合一理論密度
	・配合率が変わるため、試験配合表と理論密度が再計算されます。
	室内配合―マーシャル~ラベリング
	・理論密度が変わるため、供試体欄とOACが再計算されます。
	<u> </u>
	元勿乱日 日风祉及 ・
	11日风祉反と「足祉反としく丹以付しより。
	元勿配日 住禰石反 ・ 安内ΟΔCが変わるため 試験配合差と理論変度が再計質されます
	11月10月10月10月10日、11日秋日日秋日日秋日日秋日日10日10日10日10日10日10日10日10日10日10日10日10日11日11
	・OAC 理論密度が変わるため、供試体欄が再計算されます。
室内配合設計調整	室内配合——理論密度
	・再生用添加剤量などの計算に影響します。
	室内配合―マーシャル~ラベリング
	・理論密度が変わるため、供試体欄とOACが再計算されます。
	現場配合—マーシャル~ラベリング
	・理論密度が変わるため、供試体欄とOACが再計算されます。
室内配合一理論密度	再計算は行われません。
	※計算に影響する箇所は手入力できません。
室内配合—マーシャル	室内配合 → 再計算は行われません。
	現場配合一理論密度
	・UACか変わるため、試験配合表と埋論密度か再計算されます。
	現場配合―マーンヤル~アベリンク
	・UAC、理論者及が変わるにの、供純体体が分計昇されます。 会内配合 → 再計算け行われません
死物配日日戊松皮	
	現場配合一理論密度
	・配合率が変わるため、試験配合表と理論密度が再計算されます。
	現場配合―マーシャル~ラベリング
	・理論密度が変わるため、供試体欄が再計算されます。
現場配合—マーシャル	再計算は行われません。
現場配合一結果表	再計算は行われません。
	※画面内容は、常に最新の結果が表示されます。
現場配合―プラント配合	再計算は行われません。
	※画面内の「最新に更新」ボタンを押した場合のみ、更新されます。

¶3. 各試験結果入力画面の詳細

■ 調整図表

調整図表は、基本設定の配合種別を再生に設定した場合に試験値を入力できるようになります。 画面は、下記の5種類があり、配合種別により選択可能な画面が切り替わります。

- ・再生用添加剤による設計針入度への調整
- ・新アスファルトによる設計針入度への調整

室内 配合 新人- 添加	針入- 新アス	針入 添+新	圧裂 - 添加	<u>圧裂</u> - 新アス
--------------------	------------	-----------	-------------	--------------------

- ・再生用添加剤+新アスファルトによる設計針入度への調整
- ・再生用添加剤による設計圧裂係数への調整
- ・新アスファルトによる設計圧裂係数への調整

画面に、それぞれの試験結果を入力する事で、グラフが描画され、再生用添加剤量(再生用添加剤の場合)、 または、再生骨材配合率(新アスファルトの場合)が計算されます。

この画面の試験値を変更すると、「試験配合表」「理論密度計算表」の再計算が行われます。

※再計算により、さらに後続の画面も再計算が行われます。

■ 再生用添加剤による設計針入度への調整

設計針入度を入力し、再生用添加剤量を求めます。 試料となる再生骨材の試験値は、基本設定に入力します。



項目	計算方法・入力内容など
設計針入度	設計値を入力します。
再生用添加剤量	先頭1列目については、基本設定に設定されている再生骨材の旧アスファルト
針入度	針入度が自動設定されます。
	複数の再生骨材を使用した場合、基本設定に設定した再生骨材のうち、番号の
	一番若い再生骨材が使用されます。
	2つ目以降については試験値を入力します。
	試験値を入力すると、グラフが描画されます。
設計針入度となる	調整図表から自動的に計算されます。
再生用添加剤量	
グラフ目盛	再生用添加剤量の目盛間隔を変更する事ができます。
■ 新アスファルトによる設計針入度への調整

設計針入度を入力し、再生骨材配合率を求めます。 試料となる再生骨材の試験値は、基本設定に入力します。



項目	計算方法・入力内容など
設計針入度	設計値を入力します。
目標再生	目標再生アスファルト量を入力します。
アスファルト量	
旧アスファルト含有量	基本設定に設定されている再生骨材の旧アスファルト含有量が自動設定されます。 複数の再生骨材を使用した場合、基本設定に設定した再生骨材のうち、番号の 一番若い再生骨材が使用されます。
新・旧アスファルト	固定です。
の配合比率	
針入度	旧アスファルト針入度は、基本設定に設定されている再生骨材の旧アスファルト 針入度が使用されます。 複数の再生骨材を使用した場合、基本設定で設定した再生骨材のうち、番号の 一番若い再生骨材が使用されます。 新アスファルト針入度は、基本設定で「新アスファルト針入度」にチェックされた アスファルトの針入度です。(ストレートアスファルト)
設計針入度となる 新・旧アスファルト配合比率 目標再生アスファルト量となる 新・旧アスファルト量	調整図表から自動的に計算されます。
再生骨材配合率	再生骨材配合率の計算結果を5%刻みに丸めた値が表示されます。 この再生骨材配合率(背景オレンジの欄)は手入力で結果を変更する事ができ ます。

■ 再生用添加剤+新アスファルトによる設計針入度への調整

設計針入度を入力し、再生用添加剤量と再生骨材配合率を求めます。 試料となる再生骨材の試験値は、基本設定に入力します。



項目	計算方法・入力内容など
設計針入度	設計値を入力します。
旧アス回復針入度	旧アスファルトの回復針入度を入力します。
	「▲」「▼」ボタンでも調整することが可能です。
目標再生	目標再生アスファルト量を入力します。
アスファルト量	
旧アスファルト含有量	基本設定に設定されている再生骨材の旧アスファルト含有量が自動設定されます。
	複数の再生骨材を使用した場合、基本設定に設定した再生骨材のうち、番号の
	一番若い再生骨材が使用されます。
再生用添加剤量	先頭1列目については、基本設定に設定されている再生骨材の旧アスファルト
針入度	針入度が自動設定されます。
	複数の再生骨材を使用した場合、基本設定に設定した再生骨材のうち、番号の
	一番若い再生骨材が使用されます。
	2つ目以降については試験値を入力します。
	試験値を入力すると、グラフが描画されます
旧アス回復針入度となる	調整図表から自動的に計算されます。
再生用添加剤量	
回復後の旧アスファルト	
含有量	
グラフ目盛	再生用添加剤量の目盛間隔を変更する事ができます。
新・旧アスファルト	固定です。
の配合比率	

針入度	ここでの旧アスファルト針入度は、再生用添加剤で調整を行った針入度です。(旧ア スファルト回復針入度)
	新アスファルト針入度は、基本設定で「新アスファルト針入度」にチェックされた アスファルトの針入度です。(ストレートアスファルト)
設計針入度となる 新・旧アスファルト配合比率 目標再生アスファルト量となる 新・旧アスファルト量	調整図表から自動的に計算されます。
再生骨材配合率	再生骨材配合率の計算結果を5%刻みに丸めた値が表示されます。 この再生骨材配合率(背景オレンジの欄)は手入力で結果を変更する事ができます。

■ 再生用添加剤による設計圧裂係数への調整

設計圧裂係数を入力し、再生用添加剤量を求めます。



項目	計算方法・入力内容など
試料名	使用した試料、新アスファルトの名称を入力します。
新アスファルト	また試料の再生アスファルト量を入力します。
再生アスファルト量	
設計圧裂係数	コンボボックスより「一般用」か「積雪寒冷地用」のいずれかを選択すると、規格値と
	設定値が自動設定されます。
	また規格値を変更すると、設定値が規格値の中央に自動設定されます。
再生用添加剤量	試験結果を入力します。
圧裂係数	グラフが描画されます。
規格値に適合する再	調整図表から自動的に計算されます。
生用添加剤量の範囲	
再生用添加剤用の	
設定量	

■ 新アスファルトによる設計圧裂係数への調整

設計圧裂係数を入力し、再生骨材配合率を求めます。



項目	計算方法・入力内容など
試料名	使用した試料、新アスファルトの名称を入力します。
新アスファルト	また試料の再生アスファルト量を入力します。
再生アスファルト量	
設計圧裂係数	コンボボックスより「一般用」か「積雪寒冷地用」のいずれかを選択すると、規格値と
	設定値が自動設定されます。
	また規格値を変更すると、設定値が規格値の中央に自動設定されます。
再生用添加剤量	試験結果を入力します。
圧裂係数	グラフが描画されます。
規格値に適合する	調整図表から自動的に計算されます。
再生用添加剤量	
の範囲	
再生骨材配合率	再生骨材配合率の計算結果を5%刻みに丸めた値が表示されます。
	この再生骨材配合率(背景オレンジの欄)は手入力で結果を変更する事が
	できます。

■ 合成粒度表

画面に骨材の配合率を入力します。骨材の粒度、材料名、粒度範囲は基本設定の値が使用されます。 骨材配合率、合成粒度、グラフなどは、入力結果を元に自動的に表示されます。

なお、室内配合では基本設定でのみ値の変更ができますが、現場配合の場合は値の変更が可能ですのでグ ラフの変化を確認しながら修正する事が出来ます。

また、画面左のページ選択メニューでは、入力頁を「補正前」「補正後」で切り替える事ができます。



項目	計算方法・入力内容など
材料名	基本設定「合成粒度用」の材料名が表示されます。
配合率	配合率を入力すると、ふるい別配合率、合成粒度、補正配合率が計算されます。
補正配合率	入力した値は理論密度計算表で使用され、再計算が行われます。
	補正後ページを入力すると、補正後の結果が理論密度計算表などで使用されます。
骨材の粒度	基本設定の値が表示されます。
	現場配合の場合のみ直接入力できます。
粒度範囲	基本設定の値が表示されます。
合成粒度	計算結果が表示されます。
	室内配合の合成粒度は、現場配合の予定粒度として設定されます。
	補正後を使用した場合のみ、補正後の値が理論密度計算表などで使用されます。
	また、計算方法は基本設定の「合成粒度計算方法」で設定した方法で計算します。
合計配合率	配合率(又は補正配合率)の合計が表示されます。
合計補正配合率	100.0%以外の場合、赤文字になります。
予定粒度	室内配合では、基本設定の値が表示されます。
	現場配合では、室内配合の合成粒度が表示されます。
図表切替	補正前でのみ表示されます。表示するグラフを切り替えます。
配合率の計算ボタン	配合率計算を行います。
	詳細は次頁を参照ください。
配合率の密度補正	チェックを付けると配合率の密度補正計算を行い、青文字で結果を表示します。
を行う	理論密度計算表も補正配合率を使用して再計算が行われます。
	骨材密度の差が0.2以上ある骨材が2つ以上ある場合、メッセージが表示されます。

[配合率計算]

配合率の計算 ボタンを押すと、「配合率計算」画面が起動します。

この画面では、予定粒度と骨材の粒度から、骨材の配合率を自動計算する事ができます。

予定粒度が設定されていない場合、配合率計算は実行できません。

また、再生骨材が含まれている場合、再生骨材の配合率については自動計算されませんので、再生骨材の配合率は手入力で行います。

新規骨材のみ		
	配合率の計算を行います。よろしいですか?	
		OK キャンセル

再生骨材入り

配	合率の計算					1.4	12				×
			百己	合率の計算を	行います。	再生骨材酶	記合率を設	定してください	•		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	材料名	5号砕石	6号砕石	7号砕石	粗砂	細砂	石粉	再生骨材			
	配合率							30.0			
									ОК	*	マンセル
					再 手	生骨材の 入力しま	つ配合率 す。	は			

[補正前配合率をコピー]

補正前配合率をコピー」ボタンを押すと、「補正前」ページに入力した配合率を、「補正後」ページにその

ままコピーします。

補正後配合率の入力前にクリックする事で、補正前配合率から簡単に補正を行う事ができます。このボタンは「補正後」ページにのみ表示されます。

[配合率の密度補正]

「配合率の密度補正を行う」にチェックを付けると、密度補正が自動的に行われ、補正配合率が計算されます。 密度補正が必要な場合のみ、ヘッダ情報欄の下にメッセージが表示されます。



■ 試験配合表·理論最大密度計算表

ページ選択メニューで「試験配合表」と「理論最大密度計算表」を切り替える事ができます。 この際、試験配合表については、配合種別がバージンの場合は必要が無いため表示されません。 基本設定の「配合種別」「ゴム計算種別」の2つの設定により、画面表示内容と計算方法が変更されます。 室内配合、現場配合ともに同じ画面に計算結果が表示されます。室内確認試験の結果は表示されません。 画面内容は全て自動計算されますので、入力は試験日、試験者、備考のみとなります。 合成粒度表、マーシャル安定度試験などを入力すると、逐次この画面が更新されていきます。

[試験配合表 (※画面は 再生添加剤ー針入度方式ープラントミックス内比の場合)]



[試験配合表]

項目	計算方法・入力内容など
1	基本設定で設定した材料名、および、合成粒度表で入力した配合率(又は補正配合率)が
	配合率Aに表示されます。配合率Bは計算されます。
	旧アスファルト含有量は、基本設定の値が使用されます。
	基本設定で入力した繊維の配合率、密度もここに表示され、計算されます。
	「合計」欄では、配合率の合計が計算されます。
2	配合種別、ゴム計算方法に応じた計算が行われます。
	再生用添加剤量、または、旧・新アスファルト量(外割)が計算されます。
3	室内配合の計算結果が表示されます。
	再生アスファルト量は、基本設定で設定した値が使用されます。
4	現場配合の計算結果が表示されます。
	再生アスファルト量は、室内マーシャルで確定したOACが使用されます。
	「OAC+0.3」「OAC-0.3」の列は、基本設定で現場配合欄の配合点数を「OAC±0.3%」に
	設定した場合のみ計算されます。
5	ゴム計算方法がプラントミックスの場合に画面が表示され、計算が行われます。
	固形分などは、基本設定で「室内理論密度」用に設定されているアスファルトが使用
	されます。OACは、室内マーシャルで確定したOACが表示されます。
	この欄に表示されている計算結果は備考欄に出力されます(※標準様式の場合)。
備考	「ゴム計算種別」が設定されている場合、備考は印刷されませんのでご注意ください。

[]	里論最	大	密	度計算表(※面	面は「	再生添	加剤-	一針ス	度方式	ヽ ープラ	ントミックス内比の場合)]		
	ページ選択 試験配合			① 材料名	》 配合 ³	》 率 %	表乾密度	かさ密度	見掛密度	③ 計算密度	@ @/@	ヘッダ情報		
	田珍肉庄		1	ちち砕石	18.0	18.00	2.837	2.804	2.901	2.901	6.205	試験者創風太郎		
	里調密反		2	しち砕石	14.0	14.00	2.732	2.706	2.118	2.118	5.040	※ヘッダ情報は、試験配合表と理論密度計		
			3	/ 万 矸 伯	10.0	10.00	Z+/1Z	Z - 081	Z.765	Z./05	3.017	算表で共通です。		
			4	₹且0少 ¢mme	12.0	12.00	2.680	Z.64/	Z.130	Z./3b	4.380			
			5		10.0	10.00	Z.042	2.014	2.089	2.089	3./19			
		-	6		0.0	0.00				Z./UU 0.400	2.222			
			/	舟注肩附	30.0	31.79				2.420	13.104			
			8											
			9											
			0											
			1											
			2			0.10				0.000	0.100			
		1	3	000-AA 11 F K 00	100.0	101.05	高生业品。·四、+ +/		0.051	- 0.999	0.100			
				100.0	101.85	¥乙3末1月1171		2.001	2@ -	30.433				
			5		\$			Ð					0	
				アスファルト量 %	アスファ	ルト密度	\$/8	Σ 🤇		⊘+® (詰崩最大密度 Σ ②+⑤)/⑨			
	(1	1	6.0 4.	43	1.040	4.26	0 3	8.453	42.713	2.491	┌ ゴム入りアスファルトの計算(プラントミックス内比) ――――」		
0		2	2	6.5 5.	00	1.040	4.80	8 3	8.453	43.261	2.472	④ 固 形 分 (%) 3.0		
K	רוי		3	7.0 5.	58	1.040	5.36	5 3	8.453	43.818	2.454			
	- 1	4	4	7.5 6.	16	1.040	5.92	3 3	8.453	44.376	2.436	(6) OAC (76) 7.1		
			5	8.0 6.	75	1.040	6.49	0 3	8.453	44.943	2.419	© アスファルト量 (%) 6.89 = ⑧/(100+④)×100		
6			<u>5</u> .3	6.8 5.	35	10.360	0.51	6 3	8.453	38.969	2.753	◎ゴム固形分量(%) 0.21 = ⑧-◎		
3		0	AC	/.1 5.	69	10.360	0.54	93	8.453	39.002	2.760			
		+	D.3	7.4 6.	04	10.360	0.58	3 3	8.453	39.036	2.766			
		備考												

[理論密度計算表]

項目	計算方法・入力内容など
1	基本設定の材料名、密度、合成粒度表の配合率(又は補正配合率)が表示されます。
	基本設定で入力した繊維の配合率、密度もここに表示され、計算されます。
	「Σ○」欄では、各計算値の合計が表示されます。
2	室内配合の理論密度が計算されます。
	アスファルト量は、基本設定で設定した値が使用されます。
	アスファルト密度は、基本設定で「室内理論密度」用に設定されているアスファルトが使用
	されます。
3	現場配合の理論密度が計算されます。
	アスファルト量は、室内マーシャルで確定したOACが使用されます。
	アスファルト密度は、基本設定で「現場理論密度」用に設定されているアスファルトが使用
	されます。
	「OAC+0.3」「OAC-0.3」の行は、基本設定で現場配合欄の配合点数を「OAC±0.3%」に
	設定した場合のみ計算・表示されます。
4	ゴム計算方法がプラントミックスの場合に画面が表示され、計算が行われます。
	固形分などは、基本設定で「室内理論密度」用に設定されているアスファルトが使用
	されます。OACは、室内マーシャルで確定したOACが表示されます。
	この欄に表示されている計算結果は備考欄に出力されます(※標準様式の場合)。
備考	「ゴム計算種別」が設定されている場合、備考は印刷されませんのでご注意ください。

■ 理論最大密度計算表(北海道 F 付き)

配合種別が「バージン 北海道F付き」の場合、対応した計算様式で理論密度を計算します。



[理論最大密度計算表] (※バージン 北海道 F 付きの場合)

[理論密度計算表]

項目	計算方法・入力内容など
1	「骨材(石粉含む)」…合成粒度表の配合率(又は補正配合率)が表示されます。
	「骨材(石粉除く)」・・・上記の配合率をもとに、石粉を除いた配合率が計算されます。
2	基本設定で設定した F/A の値により、配合率が計算されます。
3	現場配合の配合率が計算されます。
	アスファルト量は、室内マーシャルで確定したOACが使用されます。
	「OAC+0.3」「OAC-0.3」の行は、基本設定で現場配合欄の配合点数を「OAC±0.3%」に
	設定した場合のみ計算されます。
4	基本設定の材料名、密度が表示されます。
	アスファルト密度は、基本設定で「室内理論密度」用に設定されているアスファルトが使用
	されます。
5	室内配合の理論密度が計算されます。
6	現場配合の理論密度が計算されます。

■ マーシャル安定度試験

画面左のページ選択メニューで、入力頁を「標準」「水浸」「結果図表」を切り替える事ができます。

室内配合では5点の行が用意されます。室内確認試験ではOAC3点の行が用意されます。現場配合では、 OAC3点の行が用意されます。この画面は常にすべての行(供試体入力欄)が表示されますので、必要な行のみ 入力を行って下さい。

現場マーシャルの場合、室内マーシャルの結果図表の上に現場配合の試験結果グラフが表示されます。 室内確認試験については、グラフは表示されません。



[マーシャル安定度試験 ※画面は室内配合]

[マーシャル安定度試験]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	「アスファルト種類」「アスファルト密度」「突固め回数」は基本設定の値が入力されます。
	アスファルトは、基本設定で「室内マーシャル」または「現場マーシャル」用に設定
	されているアスファルトが使用されます。「試験者名」、「力計の計数」は既定値設定
	で設定した値が入ります。
アスファルト量	理論最大密度計算表に表示される「⑤アスファルト量」が表示されます。
厚さ・直径・質量	厚さ、直径、質量を入力します。
容積·密度	自動的に計算されます。
理論密度	最大理論密度計算表の計算結果が表示されます。
アスファルト容積率	自動的に計算されます。
空隙率	基本設定の「空隙率計算方法」により、供試体ごとか、平均のみが表示されます。
骨材間隙率	自動的に計算されます。
飽和度	
力計の読み	安定度の計算に使います。
安定度	「力計の係数×力計の読み」の計算結果を表示します。
	「力計の読み」が入力されていない場合、直接入力する事ができます。
フロー値	フロー値を入力します。
残留安定度	水浸の場合のみ計算されます。
	「標準の安定度」と「水浸の安定度」が入力されている場合、自動計算します。
グラフ目盛	室内マーシャルの場合、「原点」と「間隔」を設定すると、グラフ縦軸を変更できます。

グラフ操作	グラフの微調整を行う事ができます。微調整を行うと、合格範囲も調整されます。
最適アスファルト量	室内マーシャルの場合、OACを直接入力して変更する事ができます。
	ただし、基本設定を変更したり、合成粒度を変更したりすると、OACが再計算される
	ため、再度設定し直す必要がありますのでご注意ください。
	また、OACを決定すると、理論密度計算表、現場合成粒度、現場マーシャルが
	再計算されます。

■ マーシャル安定度試験 – ハイブリット方式(高機能||型)の場合

基本設定の密度計算方法が「高機能Ⅱ型」に設定されている場合、マーシャル安定度試験の画面に項目が追加されます。



[マーシャル安定度試験 ※画面は室内配合・高機能Ⅱ型]

[マーシャル安定度試験 - 高機能Ⅱ型]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	既定値設定で設定した値が入ります。
・パックの密度	
・体積換算係数	
真空パック密度	パック後空中質量、パック後水中質量をそれぞれ入力します。
・パック後空中質量	
・パック後水中質量	
真空パック密度	自動的に計算されます。
・容積	
•密度	
真空パック空隙率	基本設定の「空隙率計算方法」により、平均のみ、または供試体毎に表示します。
その他の項目は前項と	同様です。

- 46 -

■ 舗装路面のきめ深さ測定

測定値を入力し、MPD平均値を求めます。 ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合のみ使用可能になります。

[舗装路面のきめ深さ測定]



[舗装路面のきめ深さ測定]

項目	計算方法・入力内容など
 ヘッダ情報 ・試験者 ・測定機種 ・MPDの算出方法 	既定値設定で設定した値が入ります。
・アスファルト量	理論最大密度計算表に表示される「⑥アスファルト量」が表示されます。
区間の測定値(mm)	測定値を入力します。
平均対象	MPD平均を算出するための対象データにチェックを付けます。

■ ホイールトラッキング試験

動的安定度を求めます。

室内 針入 配合 添加	- 針入- 圧裂- 新アス 添加	<u>圧裂</u> - 新アス	合成 粒度 理	論 マーシ 渡 ヤル	きめ 深さ	ホイトラ	透水 試験	カンタ ブロ	水浸 ホイトラ	静的 ダレ	ラベリ ング	現場 配合	合成 粒度
ページ選択	供試体番号	1	1	2	3	平均	1	┌ ヘッタ情報				1	
確認試験	供試体の厚さ	(cm)						試験日	2017年	∓03月01E	•		
- DO PHAN	供試体の空中質量	(g)						試験者	創風	太郎			
	供試体の水中質量	(g)											
	供試体の表乾質量	(g)						走行方	走	クランク式	-		
	供試体の容積	(cm)						協質認業	h CH	1.0			
	供試体の密度	(g∕cm)	2.419	2.415	2.418	2.417	7	1失开问该	<u>x 01</u>	1.0			
	供試体の締固め度	(%)	104.2	104.0	104.2	104.1	1	上載荷雪	E (N)	686			
			0.72	0.77	0.86			60°C接地归	E (MPa)	0.63			
			1.13	1.21	1.40			供試体の作	製場所	室内	•		
			1.32	1.42	1.63				₩ C-2	1.0			
	変形量(mm)	d15	1.42	1.55	1.75				x 02	0500			
		d30	1.60	1.76	1.97			走行回数	t (💷)	2520			
		d45	1.71	1.89	2.09			試験温度	[(°C)	60			
		d60	1.78	1.98	2.18	0.00	_						
	変形 重の差	(mm)	0.07	0.09	0.09	0.08	3	アスファルト種類	ā 高粘度	記改質アスフ	7/l}		
	動的安定度(DS)	(0/mm)	9000	7000	7000	7000		アスファルト雪	5.9]			
	平均動的安定度(D6)	(@/mm)	105 4400	77.4400	774400	7880	1	基進密度	2.3	21			
	牛均旭Cの差の十万 ■ 注 /言 ★		1234400	774400	774400	1107							
	伝 竿 Ma 左 亦 新 必 新	(07)				15.0	1						
	发 動 体 鉄 広密亦形母(JO)	(20)	1.50	1.62	1.82	1.65	-						
	江 缶 支 形 重 (00) 時間——恋形量曲線の形	생분	直線型 ▼	直線型 및	直線型 및	1.00	-						
	addad Schollennigkophi	etA.]	
	-75												

[ホイールトラッキング試験]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	既定値設定で設定した値が入ります。
·試験者	
・走行方式	「走行方式」… 選択により、換算係数C1の値が変更されます。
・換算係数 C1	「供試体の作製場所」… 選択により、換算係数C2の値が変更されます。
・上載荷重(N)	換算係数C1・C2は直接入力する事もできます。
•60℃接地圧(MPa)	
・供試体の作製場所	
・換算係数 C2	
・走行回数(回)	
・試験温度(℃)	
・アスファルト量	理論最大密度計算表に表示される「アスファルト量」が表示されます。
・基準密度	マーシャル安定度試験の「標準の平均密度」が表示されます。
供試体の密度	試験結果を入力します。
変形量	試験結果を入力します。
時間-変形量曲線	以下の3つから選択します。
の形状	・直線型・・上凸型・・変曲型

■ 透水試験

透水試験の試験結果を入力します。

[透水試験]

室内 針/ 配合 満加	↓- 針入- 圧裂- 新アス 添加	圧裂- 新アス	合成 粒度 密	論 マーシ 夏 ヤル	隷深さ	ホイトラ 透水 試験	から、 秋浸 静的 ブツ 現場 合成 から、 秋にう 如 ジグ 配合 粒度
ページ選択	供試体番	뮥	1	2	3	平均	「 ヘッダ情報 ――
確認試驗	供試体の厚さ	(cm)	5.04	5.05	5.04		試験日 2017年03月01日 ▼
-E DO DANK	供試体の直径	(cm)	9.99	9.98	9.99		試験者 創風 太郎
	供試体の断面積	(cni)	78.38	78.23	78.38		
	供試体の空中質量	(g)	909.3	917.4	912.3		アスファルト種類 再生アスファルト 60-80
	供試体の水中質量		505.4	510.8	507.1		マココッルト母 5.9
	供試体の表乾質量		910.2	918.0	912.9		7, 7, 7, 7, 10 2 3.0
	供試体の容積	(cni)	404.8	407.2	405.8		
	供試体の密度	(g∕ cmỉ)	2.246	2.253	2.248	2.249	
	供試体の締固め度	(%)	96.3	96.6	96.4	96.4	基準密度 2.332
	水頭	(cm)	5.0	5.0	5.0		
	測定時間		600	600	600		
	现流重	(cm)	U	U	0		
	水温	(°C)	0.000	0.000	0.000		
	小山「しにのける補圧」	HARX.	1.000	1.010	1 000		
	∿⁄⊌ ®∠(@⊻®)		0.000	0 000	0.000		
	W (W AW)	(cm/e)	0.00E+0	0.00E+0	0.00E+0		
		(cm/s)	0.00E+0	0.00E+0	0.00E+0	0.00E+0	
	備						
	考						

[透水試験]

項日	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	既定値設定で設定した値が入ります。
•試験者	
・アスファルト量	理論最大密度計算表に表示される「⑤アスファルト量」が表示されます。
•基準密度	マーシャル安定度試験の「標準の平均密度」が表示されます。
供試体の厚さ	試験結果を入力します。
供試体の直径	
供試体の空中質量	
供試体の水中質量	
供試体の表乾質量	
供試体の密度	
水頭	
測定時間	
越流量	
水温	
水温℃における補正係数	

■ 加圧透水試験 – ハイブリット方式(高機能||型)の場合

ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の透水試験は加圧透水試験になります。



[加圧透水試験]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	既定値設定で設定した値が入ります。
・試験者	
・アスファルト量	理論最大密度計算表に表示される「⑥アスファルト量」が表示されます。
・アスファルト密度	マーシャル安定度試験で使用したアスファルトの密度が表示されます。
・理論密度	理論最大密度計算表の「理論最大密度」が表示されます。
・基準密度	マーシャル安定度試験の「標準の平均密度」が表示されます。
·密度計算対象	既定値設定で設定した値が入ります。
・パックの密度	
·体積換算係数	
供試体の厚さ	試験結果を入力します。
供試体の直径	
供試体の空中質量	
供試体の水中質量	
供試体の表乾質量	
供試体の密度	
水頭	
測定時間	
越流量	
水温	
水温T℃における補正係数	

■ カンタブロ試験

ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合のみ使用可能になります。

[カンタブロ試験]



[カンタブロ試験]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	それぞれの温度を入力します。
・アスファルト温度	(例:150~155°C)
・モールド温度	範囲表示(~)をしない場合は左側のみ入力をします。その場合「~」は帳票出力さ
•骨材温度	れません。(例:150℃)
・混合温度	
・突固め温度	
・突固め回数	基本設定のマーシャル試験の基準値の値が入ります。
・パックの密度	既定値設定で設定した値が入ります。
·体積換算係数	
・供試体温度	
·試験条件	
厚さ	試験結果を入力します。
空中質量	
水中質量	
表乾質量	
パック後空中質量	
パック後水中質量	
試験後の空中質量	

■ 水浸ホイールトラッキング試験

ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合のみ使用可能になります。

[水浸ホイールトラッキング試験]



[水浸ホイールトラッキング試験]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	既定値設定で設定した値が入ります。
•載荷荷重	
·接地圧	
・走行速度	
·走行距離	
・トラバース速度	
・トラバース幅	
·供試体寸法	
·供試体養生	
・試験温度	
・試験時間	
·試験水位	
・アスファルト量	理論最大密度計算表に表示される「⑥アスファルト量」が表示されます。
・基準密度	マーシャル安定度試験の「標準の平均密度」が表示されます。
供試体の厚さ	試験結果を入力します。
供試体の空中質量	
供試体の水中質量	
供試体の表乾質量	
トラバース方向	
トラッキング方向	

■ 静的ダレ試験

ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合のみ使用可能になります。

[静的ダレ試験]

室内 配合 添加	-]	針入- 新アス	王裂- 添加	田裂- 新アス	合成 粒度	理論マーン	マーシー き タル 深	Ø MAN	う」透水試験	
ページ選択 確認試験	ヘダ情報 アンアルド温度 175 試験台 2017年03月01日 マンアルド温度 175 試験者 創風 大部 骨材温度 170 アンアルド登場 高粘度改貫スパルト 混合温度 170 185 アンアルド登場 5.9 養士温度 170 185									
	試料器号	試験 温度	バット質量	バット+ ふるい質量	パット+ ふるい+ 試料質量	試料質量	試験後 バット質量	試験後 試料質量	付着 損失量	· ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	1		654.8	698.4	1201.9	503.5	662.1	7.3	1.45	₩ 2.0
	2	170	635.6	676.2	1181.1	504.9	643.6	8.0	1.58	
	з		615.2	658.9	1165.6	506.7	621.2	6.0	1.18	1.0
	平	均							1.40	
	1		638.8	682.2	1187.6	505.4	654.1	15.3	3.03	0.0
	2	180	643.4	687.0	1191.1	504.1	660.7	17.3	3.43	165 1/U 1/5 18U 185 19U 195
	3		620.6	664.7	1169.0	504.3	633.4	12.8	2.54	85,8%/m/g (C)
	平	均							3.00	van 原点 165 van 原点 0.0
	1		678.6	712.2	1217.2	505.0	698.6	20.0	3.96	
	2	185	643.5	687.4	1190.6	503.2	664.8	21.3	4.23	
	3		672.0	705.7	1210.4	504.7	692.9	20.9	4.14	
	平	均							4.11	混合上限温度(°C) 185
	備考									

[静的ダレ試験]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	それぞれの温度を入力します。
・アスファルト温度	(例:150~155℃)
・骨材温度	範囲表示(~)をしない場合は左側のみ入力をします。その場合「~」は帳票出力さ
・混合温度	れません。(例:150℃)
·養生温度	
・アスファルト量	理論最大密度計算表に表示される「⑥アスファルト量」が表示されます。
X軸目盛	グラフの目盛を変更する場合に使用します。
Y軸目盛	
付着損失量基準値	基本設定のマーシャル試験の基準値の値が入ります。
混合上限温度	試験結果により、自動的に計算されます。
グラフ操作	チェックをONにすると、グラフ交点を移動できるようになります。
試験温度	試験結果を入力します。
バット質量	
バット+ふるい質量	
バット+ふるい+	
試料質量	
試験後バット質量	

■ ラベリング試験

ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合のみ使用可能になります。

[ラベリング試験]

室内配合	針入- 添加	針入- 新アス		王裂 添加	圧裂- 新アス	合料	波度	理論 密度	マージ ヤル		きめ 架さ	ホイトラ	透力	۲ ۲	12月 プロ	水浸	- 静 女	的し	<u>779</u> 20	現場 配合	合粒	城渡	マーシャル	結果表	プラント 配合
ページ選	択 [^	以情報	6 —																					_	
確認試	験	試験日		2017年	03月01	8 🔻	- 8	5準密度	2.	321			ŧ	試験温度(℃) -10 チェーン種別 な					リサイ	サイドチェーン					
		試験者	í	創風	太郎			供試体	(① ② 平均				養生時間(hr) 4			4 J 1	・ チェーン材質 JIS G 4051 S35C							
	72	ファルト	鯫	高粘度	改質7%	77ルト		- 空隙率	2.	2.310 2.323 2.32U ##			前回転数 (回/min) 200			0 🧏	定方法	ダイ	ヤルゲ	ージ3時	痂				
	アフ	しァル	量	5.9				帝国め居	(9.8	100.1	100.0	供試(本回意教	(往復/n	nin) 6	6 1	定間隔	1 cm	ビッチ1	5測点				
	411-5-1																						穿耗幅		
	1000	ΠΦΨ	線	1	2	3	- 4	5	6	7	8	9	10	-11	12	13	-14	15	16	17	18		(cm)		
			A	5.50	5.46	5.58	6.48	6.38	5.73	5.97	6.15	6.04	6.41	5.89	5.78	6.41	6.51						-		
	87/18	映削	B	5.4/	5.92	6.24	6.27	6.33	6.20	6.32	0.75	5.11	6.30	6.27	5.43	5.78	5.10						-		
			A	5.50	5.48	5 40	0.01 6.02	5.50	5 20	5.12	4 69	5 12	5.82	5.03	5.52	6.13 6.41	8.51						9.0		
	「「「「「」」	焼後、	B	5.47	5.92	6.01	5.94	4.71	5.29	5.34	5.44	4.81	5.90	5.72	5.18	5.78	5.10						9.0		
	(碑)	·托1发)	C	5.32	5.83	6.11	5.48	4.83	5.79	5.55	6.04	6.44	6.07	6.26	6.37	6.19	5.59						9.0		
	供話	体②	測線	ダイヤル	ゲージの 2	読み (m 3	n) 4															ß	拿耗幅 (cm)		
			Α	5.42	6.35	4.13	4.98	6.02	6.03	6.13	5.75	5.98	5.34	5.44	4.39	5.72	5.56						-		
	試	険前	В	4.30	5.82	5.73	5.89	5.95	6.17	6.05	5.98	4.24	5.72	5.08	5.31	5.64	4.98						-		
			C	5.44	5.12	5.23	6.08	5.86	5.68	5.28	4.57	5.36	3.33	6.03	5.25	4.99	5.69						-		
	武	扶後	P	0.42	5 00	4.01 5.40	4.80	5.03	4.88	0.00	5.17	0.14	4.81 5.25	0.21	4.30 E 10	5.84	00.0						9.0		
	(摩)	耗後)	C	5.44	5.12	5.05	5.77	4.83	4.86	4.56	4.41	4.11	3.33	5.36	5.11	4.99	5.69						9.0		
			(B)	摩耗	深さ(mn)					1. 11											- 42	均摩耗	すれへれ量	平均すり
			線																			1 2	₽\$(cm)	í (cm) T	へり童(cmĺ)
			A	0.00	0.00	0.18	0.46	0.79	0.53	0.85	1.47	0.92	0.59	0.86	0.26	0.00	0.00						0.0800	0.72	
	供試	体①	В	0.00	0.00	0.23	0.33	1.62	0.91	0.98	1.03	0.30	0.40	0.55	0.25	0.00	0.00						0.0700	0.63	0.60
			C	0.00	0.00	0.06	0.43	0.64	0.70	1.05	0.71	0.09	0.26	0.10	0.18	0.00	0.00						0.0500	0.45	
	(11.52	(休 の	B	0.00	0.00	0.12	0.12	0.99	1.15	1.59	0.64	0.84	0.53	0.23	0.03	0.00	0.00						0.0000	0.54	0.57
	0.04	014-162	C	0.00	0.00	0.18	0.31	1.03	0.82	0.72	0.16	1.25	0.00	0.67	0.14	0.00	0.00						0.0600	0.54	0.01
	•																				,		2枚の	平均	0.59

[ラベリング試験]

項目	計算方法・入力内容など
ヘッダ情報	理論最大密度計算表に表示される「⑥アスファルト量」が表示されます。
・アスファルト量	
・基準密度	マーシャル安定度試験の「標準の平均密度」が表示されます。
・供試体 密度	
・供試体 空隙率	
・試験温度	既定値設定で設定した値が入ります。
·養生時間	
・車輪回転数	
·供試体回転数	
・チェーン種別	
・チェーン材質	
·測定方法	
·測定間隔	
ダイヤルゲージの読み	試験結果を入力します。
·試験前	
·試験後(摩耗後)	
摩耗幅	試験結果を入力します。
平均摩耗深さ	

■ 配合設計結果表

室内配合、および、現場配合の設計結果をまとめて表示します。

[配合設計結果表]

骨材配合率																						
		<u>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 合計</u>								ēt 🛛												
安内配本	5号	砕石	6号8	砕石	7号砕石	ī ł	狙砂	細砂	石粉	再生作	骨材											
ENBLE		18.0		14.0	10	.0	12.0	10.0	6.0)	30.0							100.0				
相提起。	4	ビン	зĽ	シー	2ビン	1	ピン	石粉	再生骨材													
		22.0		12.0	11	.0	18.0	7.0	30.0)								100.0				
合成粒度	合成粒度																					
	53(mm) 37.5 31.5 26.5 19 13.2 9.5 4.75 2.36 1.18 600(µm) 300 150 75																					
室内配合						1	00.0	99.2	81.8			62.3		46.5		;	30.4	1	20.3	10.7	1	8.8
現場配合						1	00.0	98.3	78.5			60.2		48.5		:	29.7		17.5	11.6	!	<mark>9.8</mark>
粒度範囲		~	~		~	100 ~	/ 100 95 -	~ 100 75	~ 95	\sim	52 ~	~ 72	40 ~	60 ~	~	$_{25}\sim$	45	$16 \sim$	33	8~ 21	$_{6}\sim$	11
マーシャル試	験結	果																				
						室内	Re					現場	2合			100.00	F / ===					
									OAC	OA	AC-0.3	OA	C I	OAC+0.3		基準個						
アスファル	レト量		6.0	6	.5	7.0	7.	5 8.	0	7.1	6.8		7.1	7.4								
密	度		2.347	2.3	51	2.354	2.35	3 2.34	9 2.3	355	2.358	2	.363	2.362								
理論管	5 度		2.491	2.4	72	2.454	2.43	3 2.41	9 2.	451	2.461	2	.451	2.440								
空隙	率		5.8	4	.9	4.1	3.	3 2.	9 :	3.9	4.2		3.6	3.2		3~	× 5					
飽 和	度		69.9	75	.0	79.4	83.	7 86.	2 8).5	78.6		81.7	84.0		75 ~	85					
骨材間	隙率		19.3	19	.6	19.9	20.3	3 21.	D 21	0.0	19.6		19.7	20.0								
安定	度		8.79	10.	10	10.64	11.0	2 10.6	4 10	.83	10.15	1	1.02	10.83		4.90	以上					
7 0 -	- 値		22		24	27	3	1 3	9	28	28		29	32		20 ~	40					
s /	F		3995	42	:08	3941	355	5 272	B 31	368	3625	:	3800	3384								
残留安	定度																					
突固め回	数	50																				
最適アスファ	小小星	の決定	,																			
甘油はに合	10 ± 2		6 50	~ 7	75																	
本中间にロ	10.2.0	(#CD21)	0.30		10																	
最適アス	ファルト	量	7.1																			

[配合設計結果表]

項目	計算方法・入力内容など
骨材配合率	室内配合の配合率(又は補正配合率)、および、現場配合の配合率が表示されます。
	「補正後」を使用している場合のみ、補正後の値が表示されます。
合成粒度	室内配合の合成粒度、および、現場配合の合成粒度が表示されます。
	「補正後」を使用している場合のみ、補正後の値が表示されます。
マーシャル	室内配合のマーシャル、および、現場配合のマーシャル試験結果が表示されます。
試験結果	室内配合のOAC欄については、基本設定の設定により、グラフ計算値または確認試
	験結果のいずれかが表示されます。
最適アスファルト	室内配合のマーシャルで決定した合格範囲と最適アスファルト量が表示されます。
量の決定	

■ プラント配合表

プラント配合表を作成する事ができます。

基準計量値を入力し、 **最新に更新** ボタンを押すと、基本設定の「配合種別」「ゴム計算種別」に より、本システムに入力された値から、必要な内容を自動設定します。この値を必要に応じて変更してください。 計量値の単位は「kg」または「t/h」です。環境設定画面で切り替えます。

この画面の13行目以降は、アスファルト量、添加剤量、ゴム固形分量などに使用されます。 13行目以降の行(アスファルト量など)については、行を動かしたりすると計算が正しく行われませんので

ご注意ください。

なお、合成粒度表の配合率等、他の画面を変更しても、この画面の配合率等の自動計算は行われません。 他の画面を更新した際に、値の再設定を行いたい場合、その都度「最新に更新」ボタンを使用して更新を 行う必要がありますのでご注意ください。

[プラント配合表(再生の場合)]

基	この画面の内容は自動計算されません。 最新の試験結果を取得する場合は、 「最新に更新」ボタンで行います。 したの画面の内容は自動計算されません。 最新に更新														
	材料名	配合薬 骨材のみ	≤(%) I日AS含む	混合物配合 率(%)	混合物配合 質量(kg)	加積配合 質量(kg)	累積 計量								
1	4ビン	22.0	22.00	20.44	306.60	306.60	V								
2	3ビン	12.0	12.00	11.15	167.25	473.85	V								
3	2ビン	11.0	11.00	10.22	153.30	627.15	V								
4	1ビン	18.0	18.00	16.72	250.80	877.95	V								
5	石粉	7.0	7.00	6.50	97.50	97.50									
6	再生骨材	30.0	31.79	29.53	442.95	442.95									
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13	設計アスファルト量		(7.64)	(7.10)											
14	旧アスファルト量		(1.79)	(1.66)											
15			0.16	0.15	2.25	2.25									
16	新アスファルト量		5.69	5.29	79.35	79.35									
17															
	合 計	100.0	107.64	100.00	1500.00	1500.00									

[プラント配合表]

項目	計算方法・入力内容など
基準計量値	入力すると、混合物配合質量、加積配合質量が計算されます。
材料名	基本設定に入力した値が設定されます。
	13行目以降は、「配合種別」「ゴム計算種別」に応じて必要な項目が設定されます。
配合率	設計アスファルト量、合計は、計算対象となる値の積算値とずれた場合、
混合物配合率	赤字で表示されますので、値を修正する目安になります。
混合物配合質量	プラントの計量目盛に合わせて値を調整します。
	合計が基準計量値とずれた場合、赤字で表示されます。値修正の目安になります。
	※プラントミックス外比の場合、基準計量値とゴム量の合計値が基準となります。
加積配合質量	自動計算されます。
累積計量	チェックを付けた行のみ、加積配合質量が累積計量されます。
「最新に更新」	本システムに入力されている値で、全て上書き更新します。
ボタン	※丸め誤差により、合計値が微小にずれ、赤字表示される事があります。

94.報告書の印刷

■ 配合設計報告書を印刷する

報告書を印刷する場合、 🤮 Excel 印刷 ボタンをクリックすると、Excel印刷画面が表示されます。

選択可能な帳票の出力様式は、ライセンスにより変わります。複数のライセンスを持っている場合、最初に 「出力様式」コンボボックスから、出力したい様式を選択してください。

V4.0では、「標準様式」「近畿様式」の様式ライセンスがあります。

ボタン	効果												
全ての帳票を選択	出力可能な帳票全てを自動的に選択し	ます。											
	値が入力されている帳票のみ、自動的にチェックされます。												
全ての選択を解除	全ての帳票からナェックを外します。												
Excel 印刷画面(標準様式	、)	- 出力済の Excel											
Excel Flybal		アスファルト混合物の配合設計(母枝が開設計その2) 英歌 用 紙											
出力様式 檀準様式 ▼		8 % R:::::::::::::::::::::::::::::::::::											
室内配合	室内配合	飛 合 物 活 再生器低度 7 2 2 7 んト 図合物(13) 於 教 考 創発 太川											
1 又表紙	16 11111111111111111111111111111111111	<u>しまままます。 教师名 9月7日 100 日 100</u>											
2 ☑ 使用材料一覧表	17 🖂 ホイールトラッキング試験	(% C) (% C) <t< td=""></t<>											
3 🔽 骨材関係材料試験結果一覧表	18 🗷 アスファルト混合物の透水試験	13 (an) 17.5											
4 図配合設計結果表	19 カンタブロ試験	28.5 29.7 29.70 29.70 29.70 29.70 29.70 29.70 29.70 20.0											
5 図設計針入度・設計圧裂係数への調整	20 水浸ホイールトラッキング試験	13 2 96.2 100 100 23.6 11.0 50.0 99.4 97.6 100.0 9.5											
6 図 骨材粒度設計その1	21 アスファルト混合物の静的ダレ試験	4.75 3.2(86.6) 00 4.11 0.6(9.7) 10.0 33.1 42.6(2.6) 2.56 0.0 7.6(86.7) 100 96.8 0.2 0.8(2.0) 28.4 43.0 42.6 75											
7 ☑ 骨材粒度設計その2 補正	前 22 ラベリング試験	1.15 000(aa) 0.7(30.8(48.0) 100 38.6 0.0.1 4.0(2.0, 3.0(10.3) 28.4 24.0 0.7 300 10.0(50.0(49.4) 25.6 1.4(0, 3.0(12.4) 18.8 15.5 0.4.1)											
8 ● 骨材粒度設計その2 補正	後現場配合	150 5.6 1.780.0 11.7 0.6 0.0 2.9 5.6 9 0.4 11.0 75 1.2 0.683.6 0.2 0.1 0.6 2.6 4.1 0.7 6.0 ~											
9 🗷 試験配合表 (アスファルト量別)	23 🗷 表紙	<u>金成数成曲条図</u> 100											
10 🗷 混合物の理論最大密度計算表	24 🗹 骨材粒度設計その1	00 9210											
11 図マーシャル安定度試験(その1) 標準	25 🗹 骨材粒度設計その2 補正前	б тр и ф со											
12 マーシャル安定度試験(その1) 水浸	26 骨材粒度設計その2 補正後												
13 🛛 マーシャル安定度試験(その2)	27 🗷 マーシャル安定度試験(その1) 標準	4 3 × 5											
14 マーシャル安定度試験(その1) 確認試験 標準	28 マーシャル安定度試験(その1) 水浸	10 0 K/A 6/											
15 マーシャル安定度試験(その1) 確認試験 水浸	29 🗷 マーシャル安定度試験(その2)	15 160 500 (µ) 1.16 2.36 0.37 0.6 12.5 12.6 5 12.6 5 (µ) -δ 6 V μ 31.5											
	30 2 プラント配合表												
✓ 全ての帳票を選択	Excel 出力	6 [1]×(2) 5 J J J L C 2 (□ ≤ □)×(0) (□ ≤ □)×(0) (□ ≤ □)×(0)											
NEXCO 高機能 II 型の配合設計書を出力します。	Excel 出力	129- 129-											
	PBI"Z	紫鬚色材センター											

ボタンをクリックすると、Excelファイル出力先選択画面が表示されますので、出力先を

選択し、「保存」ボタンをクリックします。

Excelが出力されます。

Excel出力

紙文書として印刷する場合、Excelから印刷を行います。

※既定の出力先は環境設定で変更する事ができます。ここで設定した出力先のフォルダの中に「データフォルダ」の名称のフォルダが作られます。このフォルダの中にExcelファイルが出力されます。

■ 配合設計報告書を印刷する – ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合

ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合は、下部の **Excel 出力** ボタンが使用可能になります。 必要に応じて出力してください。

Excel 印刷画面(標準様式)	▶ ※ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)	出力済の Excel
出力様式 標準構式 室内配合 1 ② 表紙 2 2 ② 使用材料一覧表 3 3 ② 骨材制係材料試験結果一覧表 4 4 ② 配合設計結果表 5 5 設計針入度:設計上裂係数への調整 6 6 ② 骨材和度設計その1 7 7 ② 骨材和度設計その2 補正前 8 ● 付和空度設計その2 補正後 9 試験配合表(アスファルト量別り) 10 10 ② 混合物の理論最大密度計算表 11 12 マーシャル安定度試験(その1) 水浸 13 ジェーシャル安定度試験(その1) 確認 14 ジェーシャル安定度試験(その1) 確認試験 標準 15 ジェーシャル安定度試験(その1) 確認試験 水浸	室内配合 16 ② 舗装器街回のきめ深を測定 17 ② ホイールトラッキング試験 18 ② アスフルト混合物の透水試験 19 ⑦ カンタブロ試験 10 ② オ、浸木イールトラッキング試験 11 ③ ア、フフルト混合物の静的以上試験 20 ③ マ、大浸木イールトラッキング試験 21 ⑦ アスフルト混合物の静的以上試験 22 ③ 不小リルラステス合物の静的以上試験 23 ② 素紙 24 ② 骨林校定度設計その1 25 ③ 骨林校定度設計その2 26 ○ マーシャル安定度試験(その1) 27 マ ーシャル安定定意試験(その1) 28 マーシャル安定定意試験(その1) 29 マ・シャル安定定意試験(その2) 20 マントル安定定意試験(その2)	• # # • ★ #ditExpc code+##0.341/02/04# Way # #i#4[1/10x0.000# no.25 code+1.0000# no.25 code+1.0000
 □ 全ての爆栗を選択 □ 全ての選択を解除 NEXCO 高機能 II 型の配合設計書を出力します。 	Excel 出力 Excel 出力 閉じる	

¶5. 現場配合総括表の作成・印刷

■ 現場配合総括表を作成する

メインメニューから、 現場配合総括表の作成 をクリックすると、現場配合総括表画面が表示されます。 この画面から、現場配合総括表(以下、総括表)を作成、削除、印刷する事ができます。

総括表の作成、複写、削除、編集方法は、メイン画面のデータファイル管理と同じです。

[一賢	画面]						
🚡 Mit	x Designer - 配合設計報告書作成:	システム			×		
アス	ファルト混合物現場配	合総括表		5 B	162		
デー	タフォルダ マニュアル用						操作メニュー
* 7	新規作成 📄 複写新規	☑編集	☓削除	₫最新表示			
No.	総括表名		報告日	—→		_	総括表の一覧
1	SO10_平成25年度 総括表	〇〇用	2012年10月28	38			
2	SO20_平成25年度 総括表	××用	2012年10月28	38			

[総括表の作成画面 (編集)]



■ 現場配合総括表を印刷する

総括表を印刷する場合、出力したいファイルを選択して「編集」をクリックします。

画面内の 🤮 Excel 印刷 ボタンをクリックすると、Excelファイル出力先選択画面が表示されます。

出力先を選択し、「保存」ボタンをクリックします。

Excelが出力されます。

紙文書として印刷する場合、Excelから印刷を行います。

※既定の出力先は環境設定で変更する事ができます。ここで設定した出力先のフォルダの中に「データフォルダ」の名称のフォルダが作られます。このフォルダの中にExcelファイルが出力されます。

- A																					
1 2						77	マ	アル	ト混	合物	ŋ現t	鳥配·	合総	括表	ŧ.		3	も数	朋	紙	
3																					
4	☆ 社 26 萩駅県是路 数 告 B 2012年 10月 28 B																				
6	プラント者 田中合料ブラント																				
7																					
8					73.77	盖章				粒		ġ		(3)	3	υ Β))				
9	嗭	ŧ	勌	右	사율	85	53	\$7.5	\$1.5	26.5	19	13.Z	9.5	4.75	Z. 36	1.18	600	\$00	150	75	
10					(%)	(s/ui)	(an.)	ļ	ļ						ļ	ļ	(տու)				
11	畜稅度 (13F)	73	עב		6.9	2.368					100	98.2		66.4	47.8		31.1	19.7	10.3	8.7	
13	畜粒度	73	עב		8.0	2 368		1		1	100	08.2		88 A	47.9	1	31 1	10 7	10 1	8 7	
14	(13F)			~ -				ļ		ļ											
15	16412度 (13F)	72	עב		8.5	2.368					100	98.2		88.4	47.8		31.1	19.7	10.3	8.7	
17	畜粒度	73	עב	截面	1	2.368		1	1	*	100	98.2		66.4	47.9	1	31.1	19.7	10.3	8.7	1
18	(13F)							ļ													
19	113F)	F 7.	עב			2.368					100	98.2		66.4	47.8		31.1	19.7	10.3	8.7	
21														•••••		Î		•			
22								ļ	ļ	ļ		ļ		ļ	ļ	ļ	ļ		ļ		
23																					
25					1			1		1				1		l		1		1	
26								ļ													
27																					
29								1								1				1	
30								ļ													
31																					
33																					
34																					
35																					
37								.								1					
38								ļ				ļ		ļ							
40																					
41					1	ĺ		ľ		l		I		Ì		ľ	ľ	_		Ī	
42								ļ		ļ		ļ		ļ		ļ	<u> </u>	ļ			
44								L													
45														1							
45								ļ		ļ					 	ł	<u> </u>				
48																					
49								I		I		[Ī		T		T		1	1
50 51					1										1	1	1			1	1
52		_													黝	開風道	路日	中台	村プ	ラント	
H ·	• • •		現場	鼬配合	総括	表 🦯	7/					I	4							•	i I

§4. データフォルダの管理

¶1. データフォルダを管理する

■ データフォルダとは

データフォルダは、本システムのデータ管理単位です。混合物マスタ、アスファルトマスタ、再生用添加剤 マスタ、繊維マスタ、配合設計データファイルが含まれます。本システムのデータフォルダは、Windowsのフォル ダとは異なりますが、各データを入れる箱といった概念は同じものになります。

本システムでは、選択しているデータフォルダのみを対象にデータを操作します。 現在選択しているデータフォルダは、メイン画面の左上に表示されます。

配合設計報告書作成システム Ver.4.0	
データフォルダ 平成25年度用②	現在選択しているフォルダです。
🖹 新規作成 🕒 複写新規 🛛 🍞 編集 🛛 🗙 削除 📝 最新表示	

メイン画面から **データフォルダの管理** をクリックすると、データフォルダの管理画面が開きます。 操作したい内容をメニューから選択すると、画面が切り替わりますので、必要な内容を入力します。

##モ+X批 ##フォルダ物整 フォルダの管理メニューです。 フォルダの管理メニューです。 現在作成されているフォルダの - 覧が表示されます。	データフォルダの管理	
フォルダー アーウフォルダー 1 デーウフォルダー 2 平成24年度用の 3 平成25年度用の 5 平成25年度用の	操作モード選択 「処理フォルダ切替」 フォルダ新規作成 「フォルダ名の編集」 フォルダの 神除	フォルダの管理メニューです。
ドーダフォルダ 現在作成されているフォルダの 一覧が表示されます。 1 データフォルダ 一覧が表示されます。 2 平成24年度用① 一覧が表示されます。 5 平成25年度用② 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	フォルダー覧から切り替えるフォルダを選択してください。	
No. F-4304/8 1 データフォルダ 2 平成24年度用① 3 平成26年度用② 4 平成26年度用② 5 平成26年度用③		現在作成されているフォルダの
1 3 7.5 7.6 2 平成24年度用① 3 平成25年度用② 5 平成25年度用②		一覧が表示されます。
 3 平成24年度用② 4 平成25年度用③ 5 平成25年度用② 	2 平成24年度用①	HA AMICHON / 0
 4 平成25年度用② 5 平成25年度用② 	3 平成24年度用②	
	4 平成25年度用① 5 平成25年度用②	
 ОК ¥+у/±л/	 ОК ++>/z/b	

項目	説明
処理フォルダ切替	メイン画面で使用している、現在のデータフォルダを変更する際に使用します。
フォルダ新規作成	新しくフォルダを作成する際に使用します。 既存フォルダからマスタやデータファイルをコピーする事ができます。
フォルダ名の編集	既存のフォルダ名を変更する際に使用します。
フォルダの削除	既存のフォルダを削除する場合に使用します。 フォルダに格納されているマスタやデータも全て削除されます。

■ データフォルダの新規作成



項目	説明
新規作成	空のフォルダを作成します。
既存フォルダから	選択したフォルダから、混合物マスタと材料マスタを全てコピーして作成します。
マスタをコピーして作成	同じマスタを使用する場合に指定します。
既存フォルダから	選択したフォルダから、混合物マスタと材料マスタ、および、全てのデータ
マスタとデータを	ファイルをコピーして作成します。
コピーして作成	

ータフォルダの管理	
操作モード選択 処理フォルダ切替 フォルダ新規作成 フォルダ名の編集 フォルダの崩除 フォルダー覧から編集するフォルダを選択し、フォルダ名を入力してください。	新しいフォルダ名を入力します。
Na データフォルダ フォルダ名 平成2 5年度用② 完了 1 データフォルダ 2 平成2 4年度用① 3 平成2 4年度用② マーム 4 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1	フォルダの一覧から、名前を変更したい
5 平成25年度用②	ノオルダを速抓しより。
	「OK」ボタンをクリックすると、入力した名前に変更されます。

■ データフォルダの削除



12. エクスポート/インポート

■ エクスポート(フォルダの退避) / インポート(フォルダの復帰)とは

エクスポート、インポート機能は、データフォルダを対象として実行する機能です。

エクスポートでは、現在選択しているデータフォルダの内容全てを、エクスポートファイル(拡張子zdb)として 書出します。

インポートでは、退避したエクスポートファイルを、現在選択しているデータフォルダに読み込みます。

使用方法としては、データフォルダを他のPCに移動したい、特定のフォルダだけをバックアップしておきたい、 といった場合にエクスポート機能を使用してデータを出力します。

出力されたファイルを、任意のタイミングでインポートする事で、エクスポートされたデータの内容を復帰する 事ができます。

インポートを行うと、システムで選択しているフォルダの内容は全て上書きされます。気を付けて利用下さい。

エクスポートファイルは、既定で下記のようなファイル名と拡張子を使用して保存されます。

[**データフォルダ名**].zdb

■ フォルダをエクスポートする

メインメニューから、データフォルダのエクスポート をクリックすると	、エクスポート画面が起動します。
データベースの管理 データフォルダのエクスポート 増立への研究はキュキルののセッチュージョングリングサリーます。	現在、メイン画面で選択している データフォルダが表示され、 出力対象になります。
せのが生き引き 2015/PMの主 UD つをご ランイル かしかります。 ここで出力されたデーサフィルは、IF ーシフルルのインボー1 機能で読み込むことが出来ます。 現在の処理対象フルル 平成 2 5 年度用② 出力するデータファイル 変更 に没てのzaulatat&Sofu #U Jupics i ener X Dut out Dat at 平成 2 5 年度用②, zdb	出力先のファイル名です。 「変更」ボタンをクリックすると、出力先を 変更する事ができます。
実行	「実行」ボタンをクリックすると、 エクスポートが実行されます。

■ フォルダをインポートする

メインメニューから、データフォルダのインポート をクリックす	ると、インポート画面が起動します。
データベースの管理 データフォルダのインポート 「データフォルダのインポート」機能により出力されたデーシアイルを読み込みます。 現在の処理対象プォル内のデーシロチンの開始され、デーペアイルの内容や「豊美されます。	現在、メイン画面で選択している データフォルダが表示され、 読み込み対象になります。
現在の処理対象フォルダ 平成25年度用の 読み込むデータファイル 変更 C:¥ProgramData¥Sofu¥WixDesigner¥OutputData¥平成25年度用@.zdb	入力対象のファイル名です。 「変更」ボタンをクリックすると、入力元を 変更する事ができます。
実行すや地川	「実行」ボタンをクリックすると、 インポートが実行されます。

¶3. バックアップ/リストア

■ バックアップ(データベース全体の退避) / リストア(データベース全体の復帰)

バックアップ、リストア機能は、本システムが使用している全てのデータを対象として実行する機能です。 バックアップは、データベースの内容全て(すべてのフォルダ)をバックアップファイル(拡張子zdb)として 書出します。

リストアは、バックアップファイルの内容で、現在のデータベース全ての内容(全てのフォルダ)を置換えます。

使用方法としては、PCの障害対策として定期的にバックアップを行ったり、PCの再セットアップ前のデータ 保管に使用したり、データベース全体を退避・復帰する用途に使用します。

リストアを行うと、システムのデータベースは全て上書きされます。気を付けて利用下さい。

バックアップファイルは、既定で下記のようなファイル名と拡張子を使用して保存されます。



§5. 環境設定

¶1. 環境設定

■ 環境設定を行う

環境設定では、データベースのバックアップ設定や、各出力ファイルのパスを設定する事ができます。

メイン画面から、	環境設定	をクリックすると、シスラ	テムの環境設定画面が開きます。
 環境設定 フライアント設定 既定値 既定 終了時のパックアッテモ・ ※システム終了時のデータの データベースパックアックラフォル データマースのパックアック データマースのパックアック データファイル出ナフォルズの C:¥ProgranData¥Sofu¥iixi ※データのエクスボートでデ 	E値2 計算 印刷 画面 逆算 ド 常にバックアップを実行 ▼ ドースのパシワアップ方法を指定します 2011ス フオルダの変更 Desi gner¥DBBackup 17アイルを保存するフォルダを指定します 1012 フオルダの変更 Desi gner¥OutputData タファイルを出方するフォルダを指定します		データベースのバックアップの 行い方を設定します。 データベースのバックアップ先 を指定します。 エクスポート先のパスを指定 します。
Excel ファイル出ナコカルダの Q:#ProgramDat a#Sofu¥Hixi ※各種帳葉の Excel ファイ	いた、「フォルダの変更」 Designer¥OutputExcel ルを出力するフォルダを指定します		Excelファイル出力先のハスを 指定します。

出力先フォルダの設定を変更する場合、「フォルダの変更」ボタンをクリックすると、フォルダを変更できます。 「終了時のバックアップモード」では、システム終了時にデータベースのバックアップを実行するか否かを設定 しておく事ができます。

バックアップファイルは、下記のファイル名で取得されます。

MixDesignerDB.zdb

なお、このバックアップは毎回同じファイル名で上書きします。バックアップの世代管理を行う場合、ファイルの 名前変更とコピーを行ってください。

バックアップモードの設定値

項目	説明
バックアップを行わない	バックアップを行いません。
常にバックアップを実行	常にデータベースのバックアップを行います。
確認画面を表示して	システム終了時にバックアップを行うか否かの確認画面を出力します。
実行	確認画面で「はい」をクリックした場合のみ、バックアップを実行します。

12. 既定值設定

■ 既定値設定を行う

既定値設定では、報告書データ入力で使用する既定値を設定しておくことができます。 「既定値」、「既定値2」タブでは、データファイルを作成した際、ここに設定してある既定値が設定されます。 「計算」タブでは、計算に使用する定数を設定しておく事ができます。 「印刷」タブでは、印刷(Excel出力)に使用する項目を設定しておく事ができます。 「画面」タブでは、プラント配合表の計量値の単位を設定しておく事ができます。

メイン画面から、 既定	値設定をクリックす	ると環境設定(既定値タブ)が表示されます。
環境設定 クライアント設定「既定値」既定値2 計算 「印刷 画面 逆算		既定値タブ
会社名 株式会社創風システム プラント名 新潟合材センター	 ・	
目的 室内配合 配合設計 目的 現場配合 現場配合	 ホイール・ラッキング試験 走行方式 クランク式 ● 検算係級 C1 1.0 (利用学校) (1 - 0) 	
試験者名 創風 太郎	上駅61型(N) 888 60℃後地圧(MPa) 0.63 供試体の作製場所 室内 ▼	
- マーシャル安定度試験 カ計の係数 1	換算係数 C2 1.0 走行回数 (回) 2520	
万つ日盛 257日 257111 25711 25711		
密度記録(真空/ゆ)法) /シウの密度 1.08 体積換算係数 1.00	カンタブロ試験 試験条件 標準 ▼ 供試体温度(*C) 20	
	OK キャンセル	

項目	説明
会社名・プラント名	「会社名」「プラント名」欄の既定値として使用されます。
目的(室内配合)	基本設定の「目的」欄の既定値に使用します。
目的(現場配合)	
試験者名	「試験者」欄の既定値に使用します。
力計の係数	マーシャル安定度試験の各既定値に使用します。
グラフ目盛	
パックの密度	ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合-マーシャル安定度試験・透水試験の各既
体積換算係数	定値に使用します。
測定機種	ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合-舗装路面のきめ深さ測定の各既定値に使
MPDの算出方法	用します。
走行方式	ホイールトラッキング試験の各既定値に使用します。
換算係数 C1	
上載荷重(N)	
60℃接地圧(MPa)	
供試体の作製場所	
換算係数 C2	
走行回数(回)	
試験温度(℃)	
密度計算対象	ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合-加圧透水試験の既定値に使用します。
試験条件	ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合-カンタブロ試験の各既定値に使用します。
供試体温度(℃)	



項目	説明
載荷荷重(kgf)	ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合-水浸ホイールトラッキング試験の各既定
接地圧(kgf/cm²)	値に使用します。
走行速度(回/分)	
走行距離(cm)	
トラバース速度(cm/分)	
トラバース幅(cm)	
供試体寸法(mm)	
供試体養生	
試験温度(℃)	
試験時間(時間)	
試験水位	
試験温度(℃)X軸目盛	ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合-静的ダレ試験のグラフの既定値に使用し
付着損失量(%)Y軸目盛	ます。
試験温度(℃)	ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の場合-ラベリング試験の各既定値に使用しま
養生時間(hr)	す。
車輪回転数(回/min)	
供試体回転数(往復/min)	
チェーン種別	
チェーン材質	
測定方法	
測定間隔	

_

環境設定		計管内ブ		
クライアント設定 既定値 既定値2 計算 印刷 画面 逆算		il昇グノ		
円周率(<i>π</i>) 3.14159				
摩耗深谷計算種別 種別①:試験前-試験後 ▼				
THE INSTANCE				
			印刷々ブ	
		周設定パターン登録ファイル ――		
国前前用会社名 新潟合材センター ※帳票のフックに印刷される会社		☞開< 🚽 保存		
*・「「「「「」」」 - シンジャー シンジャー - シンショー - シン	ー Pントタイプを指定します。ただし、表紙は、常に「明朝体」で出力されま	a		
印刷用日付書式 西暦 -				
※帳票印刷時の日付(試験日を	ど)の表示書式を指定します			
表紙用 社名、住所	等のフリー入力欄			
1 行目 株式会	は創風システム			
217日 利病 3行日	54 2 / 2 -			
4行目				
6行目				
7行目				
8行目 ※表紙の下部に印刷にれます	環境設定		•••	両面内ブ
	クライアント設定 既定値 既定値2 計算 印刷 画面	逆算	L	
			OK キャンセル	

項目	前明
円周率(π)	ここに指定した円周率を使用して計算を実行します。
摩耗深さ計算種別	ラベリング試験の摩耗深さを計算する際の計算種別を選択します。
	「種別①:試験前-試験後」「種別②:試験後-試験前」のいずれかを選択します。
印刷用会社名	配合設計報告書(バックデータ)のフッタに印刷されます。
印刷用フォント	Excel出力で使用する出力データのフォントを「ゴシック体」「明朝体」のいずれか
	から選択します。
	※出力データを除く、様式部分は明朝体固定となります。
印刷用日付書式	Excel出力の際、日付の書式を「西暦」「和暦」のいずれかから選択します。
	選択した日付書式でExcelが出力されます。
表紙用 フリー入力欄	標準様式の表紙下部に印刷されます。
印刷設定パターン	印刷用会社名、印刷用フォント、印刷用日付書式、表紙用フリー入力欄 の情報
登録ファイル	を印刷設定パターンファイルとして登録しておくことが出来ます。
	これにより、情報入力の切り替えが簡便になります。
	▶ ▶ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	■保存 ・・・・現在表示中の印刷設定情報をパターンファイルとして保存
	します。
計量值単位種別	プラント配合表の計量値の単位を設定します。
	「kg」または「t/h」のいずれかを選択します。

§6. その他の機能

_

¶1. その他の機能

■ よくある質問(FAQ)を確認する

メイン画面の よくある質問(FAQ) をクリックすると、インターネットブラウザが起動し、弊社サイトに 接続します。よく頂く質問や、システムのエラーに対する対処方法などを記載していますので活用ください。 なお、この機能を使用するには、インターネット接続が必要です。



■ 現在のバージョンを確認	する		
メイン画面の バージョン	情報をクリックする	ると、現在のバージョンが表示されます。	
SoFu http://www.sotu.co.jp/	Mix Designer 配合設計報告書作成システム Version 4.8.2020.0928 Copyright (C) Sofu System Co., Ltd. 2012 このアプリケーションは、Ma-PL このアプリケーションは、Ma-PL こうイセンスを加た DotNetZip Library を使用しています。 開じる	 システム名、バージョンが 表示されます。 	

§7. インストール

¶1. システムのインストール/アンインストール

■ 各種ツールをインストールする

Mix Designerをインストールするには、創風アプリケーションツールCDをインストールする必要があります。 創風アプリケーションツールCDには、64ビット版のディスクと32ビット版のディスクがありますので、お使いのPC に合わせて使用するCDを選択してください。

※お使いのPCのOS種類やビットを調べるには、「マイコンピュータ(または、コンピュータ)」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。

CDをPCに挿入しますと、アプリケーションツールのインストールを行う事ができます。 インストールの方法は、CD内のインストール説明書(manualフォルダ内のtool_install.pdf)を参照してください。 ※PDFを表示するには、Adobe Readerが必要です。

ツールのインストール完了後は、必ずシステムの再起動を行って下さい。

■ Mix Designer をインストールする

 CDを挿入すると、下記の画面が表示されますので、 配合設計報告書作成システムV4欄の「詳細を見る」をクリックします。 続いて表示される画面の「インストール」をクリックします。

SoFu	アプリケーション CD 製品-	覽	
			2020年3月11日版
最新パ-	ージョン		
<u>A</u> a	材料試験報告書作成システム V 4	[Material Tester V4]	→ 詳細を見る
<u>/</u>	材料試験日常管理システム V4	[Material DM V4]	\ominus 詳細を見る)
	配合設計報告書作成システム V 4	[Mix Designer V4]	🔿 詳細を見る
	排水性舗装配合設計システム V4	[Mix DP V4]	😔 詳細を見る
de	品質管理報告書作成システム V4	[Quality Manager V4]	😔 詳細を見る
.	トラック誘導装置	[TG Indicator]	😔 詳細を見る
- Bas	販売管理システム Pro	[PS Pro]	→ 詳細を見る
8	マニフェスト管理システム Pro	[Manifest Pro]	→ 詳細を見る
2	トラック検索システム	[Truck Searcher]	🔁 詳細を見る
3	工事原価管理システム	[Cost Manager]	😔 詳細を見る
	土質試験・地盤調査報告書作成システム	[Soil Manager]	😔 詳細を見る
46	出荷管理システム	[PS Manager]	→ 詳細を見る
	サイロ管理システム	[Silo Monitor]	😔 詳細を見る
旧八一	ジョン		
<u>í</u>	材料試験報告書作成システム V 3	[Material Tester V3]	⇒詳細を見る
*	配合設計報告書作成システム V 3	[Mix Designer V3]	\ominus 詳細を見る
1	配合設計報告書作成システム(中部版) V 3	[Mix Designer C V3]	→ 詳細を見る



2. セットアップが開始されますので、「次へ」をクリックします。



3. 以降の画面も「次へ」を押していくと、システムがインストールされます。

※7の場合、途中の画面でユーザアカウント制御のダイアログが出る事がありますので、「はい」を クリックしてください。

😸 Sofu Mix Designer Ver.4.0	- • •
インストールの確認	
Sofu Mix Designer Ver.4.0 をインストールする準備ができました。 [次へ]をクリックしてインストールを開始してください。	
キャンセル 〈戻	る(B) (次へ(N) >

■ Mix Designer の初回起動について

本システムは、最初の起動時にシステムの自動構成を行います。 本システムを使用する場合、初回構成を行うために、1回だけ本システムの再起動を求められる事があります。 メッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。 初回起動時は、システムが利用するデータベースを初期化するため、起動時間が多少かかる事があります。



更新を行いたい場合、 インストール ボタンをクリックしてください。自動的にセットアップが開始されます。 セットアッププログラムの操作方法につきましては、P - 75 - を参照ください。

Mix Designer をアンインストールする

1. Windows 7の場合、[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムのアンインストール]の順に選択しま す。 Windows 10の場合、[スタート]→[Windowsシステムツール]→[コントロールパネル]→[プログラムのアン

Windows 1000場合、[スタート]→[Windowsシステムワール]→[コントロールハネル]→[フロクラムのアン インストール]の順に選択します。

2. 表示されているプログラムの一覧の中から、「Sofu Mix Designer Ver.4.0」を選択し、「アンインストール」 をクリックします。



3. 画面の指示に従い、プログラムを削除します。

§8. 注意事項

¶1. 注意事項

■ データ保存場所について

本システムは、データの保管場所として、データベースである「Microsoft SQL Server 2008 Express Edition」を 使用しています。

このため、Windowsファイルを移動してもデータを読む事はできません。

別のPCからデータを読みたいなどの理由でデータを移動したい場合、フォルダのエクスポート・インポート機能 [P-65-]を使用する必要があります。

■ ライセンス登録について

本システムでは、システムの使用に際してライセンスの申請を行って頂く必要があります。 ライセンスの申請作業を行う為には、ツールCDに付属の「ライセンス申請管理」ソフトウェアを使用します。 使用方法につきましては、ツールCD内の説明書をご覧ください。

§9. 最新Ver.変更点

¶1. Ver.4.4

■ Excel 印刷の変更点

Excelの出力先は、これまでは環境設定で設定したExcelの出力先フォルダが使用されていました。 今後は、このフォルダ内に「データフォルダ」の名称のフォルダが作られます。このフォルダの中にExcelファイ ルが出力されます。

Mix Designer - 配合設計報告書作成システム	
配合設計データ編集	5 閉じる
データフォルダ 管理フォ ルダ1	データファイル 開粒度アスファルト (13)
🚰 基本設定 🚽 保存 🖉 Excel 印刷	
室内配合	信任裂 新アス) 合成粒度 環論密度 マーシャル 現場配合 合成粒度 マーシャル 結果表 ブラント 配合表
Sill String Sill String	pamData , 5du , MaDesigner , OutputSxel , 智田フホル91 、 4g 田田フホル910地路 P 日 </th
 フォルダーの非表示 	(明明(S)) (キャンセル)

現場配合粒度の直接入力

これまでは、基本設定画面でのみ現場配合粒度の設定が出来るようになっていましたが、合成粒度の画面でも設定出来るようになりましたのでグラフの変化を確認しながら修正する事が出来ます。



¶2. Ver.4.5

■ マーシャル試験の温度の範囲表示に対応

マーシャル試験画面に各種温度の範囲表示が出来るように なりました。

これにより、出力される帳票も範囲表示の設定がしてある場合は、範囲表示になります。(例:150~155℃)

範囲表示を使用しない場合は左側のみ入力をします。その 場合「~」は帳票出力されません。(例:150℃)



温;	13 物:	名 再生	粗粒质	アスファ	・ルト湯	合物(2)	0)		3	(験	者	創度	し 木自	β		
72	ファルト4	動	再生77	7기나 61	0-80					-	7.77	儿子等	(唐の)	1.	041	
72	7 7.11+3	品度	155~	160 °C	# 4	すの運	唐	175 ~	177 °C	: 1	11 合 1	2 A		155	~15	7 °C
突固	ல் கு	昆皮	143 ~	145 °C	突回	の回数	両面台	. 5	0 🗆		カi+の	係数	Ð	0.1	5	
Ð	Ø	a	æ	6	6	Ø	ø	đ	a	0	0	0	64	65	6	Ø
716	厚	2	*	¥		\$	理	アル	12	骨間	腔	カ	쁖	5	ŝ	溅荡
х.		ф	ф	乾			iA	スト				it.		п	Ι.	
¬ ۲		Ħ	貿	T			審	フ容	199	19	*0	() ≅8	æ	1	1	æ
7 🟦	ð	£	£	8	積	度	度	ア積	聿	材率	度	2	度	値	F	留房
(%)	(un)	(g)	(g)	(g)	(m)	(g/ui)	(g/ui)	(%)	(%)	(%)	(92		640	(*4#	(Ltf/n)	(%)
					©-©	6		©≚© ®	(1- 🛞) ×100	@+@	₩ ₩ × 100		©×©		8	
標準	6.33	1210.3	1860.7	2373.6	512.9	2.360						76	11.40	30		-
	6.34	1212.4	1963, 1	2376.5	513.4	2.362						76	11.40	30	†	
5.1	6.32	1209.6	1863, 1	2375.1	512.0	2, 363						73	10.95	28		
干均						2.362	2.455	11.6	3.8	15.4	75.3	75	11.25	29	3879	
																-
															1	
平均																
															1	
干均																
平均																
	ļ													ļ		
平均																
備	考															

■ マーシャル試験の最適アスファルト量用の備考欄を追加

マーシャル試験の最適アスファルト量用の備考欄を追加しました。

これにより、マーシャル安定度試験(その2)のExcel帳票 にも画面で入力したコメントが表示されます。





■ 混合物の粒度範囲および空隙率基準値のNEXCO対応

粒度範囲および空隙率基準値に、それぞれ小数桁数の設定が出来るようになりました。 小数桁数 なし または 1桁 を選択します。



§3. Ver.4.6

■ ハイブリット方式(高機能||型)に対応

ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)に対応する各種試験、報告書の処理が出来るようになりました。 基本設定で密度計算方法を「高機能Ⅱ型」に設定すると、ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)の処理が可能になりま す。

なお、ハイブリット方式(高機能Ⅱ型)を利用するには、ライセンスが必要です。



■ プラント配合表の計量値単位に「t/h」を追加

これまでは計量値の単位は「kg」で固定でしたが「t/h」でも処理できるようになりました。 環境設定画面で設定します。

Mix Designer -	Rei	Q計報告書作成システム													
プラント配合	表													- 5	1963
न्न-क्रेटकाख्रे	管理フ	?ォルダ1		データファイ	ル再生情	树									
₹基本設定															
室内 射入-	- 8	t入- 圧裂- 圧裂-		1時) マーシ	80	t chā j	透水 加	内 水浸	1 静的	5/3	現場	合成	マーシ	結果	プシント
1997 - 2016 - 2017 - 2															
^{ページ選択} 配合表	¥:	專計量値(t/h) 1500.(い内容は自動 試験結果を取 更新1ボタンで	鳩十算されほ 得する場合に 行します。	tthe a.	最新に更新								
		材料名	配合率) 優なのみ	(%) 詳 旧AS会社	合物配合 率(%)	混合物配合 質量(t/b)	加精配合 質量(t/h)	累積							
	1	4ビン	22.0	22.00	20.4	306.60	306.60	12							
	2	3ピン	12.0	12.00	11.1	167.25	473.85	1							
	3	2ビン	11.0	11.00	10.2	153.30	627.15	V							
	4	ピン	18.0	18.00	16.7	250.80	877.95	V							
	5	石粉	7.0	7.00	6.5	97.50	97.50	10							
	6	再生骨材	30.0	31.79	29.5	442.95	442.95								
	7							10							
	8														
	9														
	10							-							
	11							-							
	12	約許マフフファルト母		(7.64)	(7.10										
	13	ロフフファルト量		(1.79)	(1.66		_								
	15	al of the second		0.16	0.1	2.25	2.2								
	16	新アスファルト量		5.69	5.2	79.35	79.35								
	17														
		승 計	100.0	107.64	100.00	1500.00	1500.00								
					- 1										

■ 印刷設定パターンの切り替え機能を追加

環境設定の「印刷」タブの情報を印刷設定パターンファイルとして登録しておくことが出来るようになりました。

環境設定										
クライアント設定 見	クライアント設定 既定値 既定値2 計算 印刷 画面 逆算									
印刷用会社名 新潟合材センター 印刷設定パターン登録ファイル ※幌葉のフッタに印刷とれる会社名を指定します ● 開K 印刷用フォント ゴシック体 ※帳葉印刷時の出力データのフォントタイプを指定します。ただし、表紙は、常に「明朝体」で出力されます 印刷用日付書式 西暦										
※帳票印刷問	時の日付(試験日など)の表示書式を指定します									
表	紙用 社名、住所等のフリー入力欄									
1 行目	株式会社創風システム									
2 行目	新潟合材センター									
3 行目										
4 行目										
5 行目										
6 行日										
7 行目										
8 行目										
	312印刷されます									
		OK キャンセル								

§4. Ver.4.7

■ 北海道 F 付き合材に対応

北海道F付き合材に対応しました。

基本設定の配合種別で「バージン 北海道F付き」を選択し、F/Aの値を設定すると、対応した計算様式で理論 密度を計算します。



§5. Ver.4.8

■ 再生用添加剤+新アスファルトによる設計針入度への調整に対応

再生用添加剤+新アスファルトによる設計針入度への調整に対応しました。 基本設定の配合種別で「再生 針入度 添加剤+新アス」を選択します。



Mix Designer - 配合設計報告書作成システム

操作マニュアル

第11版 2021年2月

製作

株式会社 創風アドバンス

〒945-0822 新潟県柏崎市穂波町1番25号 TEL 0257-22-8446